

平成27年10月9日公表

平成27年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 全国調査 森林資源の循環利用に関する意識・意向調査

本調査は、森林の手入れ、森林の利用及び国産材の利用等に関する意識、意向等について、農林水産情報交流ネットワーク事業の林業者モニター、流通加工業者モニター（木材関係）及び消費者モニターを対象に実施したものであり、林業者モニター123人、流通加工業者モニター153人、消費者モニター901人の計1,177人から回答を得た結果である。

【調査結果の概要】

1 林業者モニターに対する調査結果

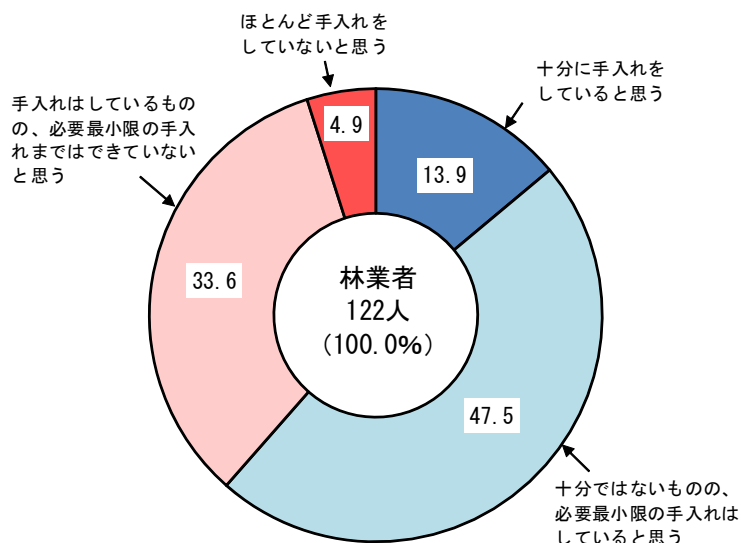
－ 主伐を実施する予定がある林業者は3割、そのうち7割は主伐後に再造林の意向 －

(1) 森林の手入れについて

ア 森林の手入れ状況

森林を保有している者に、保有している森林の手入れ状況について尋ねたところ、「十分ではないものの、必要最小限の手入れはしていると思う」と回答した割合が47.5%と最も高く、次いで「手入れはしているものの、必要最小限の手入れまではできていないと思う」（33.6%）、「十分に手入れをしていると思う」（13.9%）の順であった。

図1-1 森林の手入れ状況

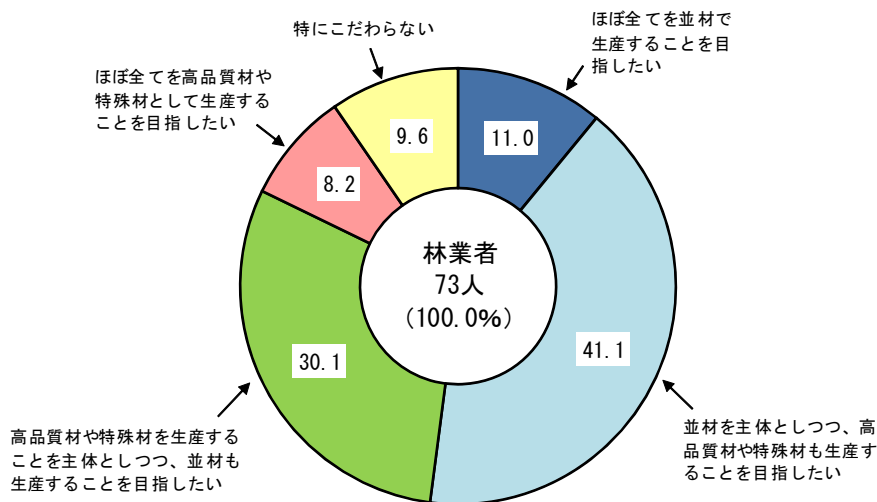


※表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げは一致しない場合がある（以下同じ。）

イ 木材の生産目標

保有している森林を「十分に手入れをしていると思う」又は「十分ではないものの、必要最小限の手入れはしていると思う」と回答した者に、木材の生産活動で生産したい木材について尋ねたところ、「並材を主体としつつ、高品質材や特殊材も生産することを目指したい」と回答した割合が41.1%と最も高く、次いで「高品質材や特殊材を生産することを主体としつつ、並材も生産することを目指したい」(30.1%)、「ほぼ全てを並材で生産することを目指したい」(11.0%)の順であった。

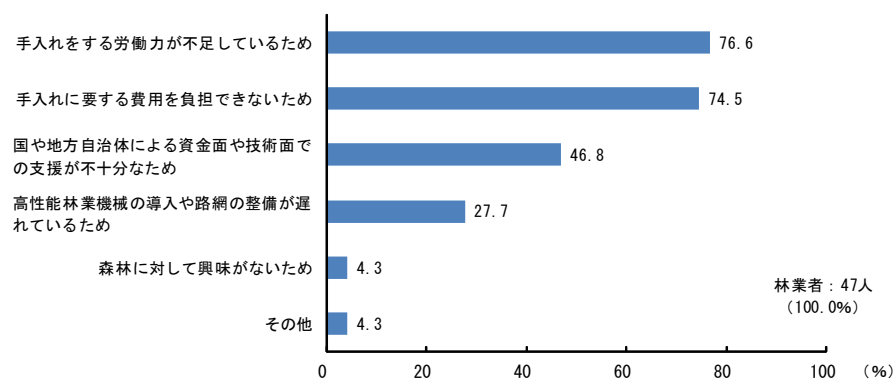
図 1-2 木材の生産目標



ウ 必要最小限の手入れまではできていない主な理由

保有している森林を「手入れはしているものの、必要最小限の手入れまではできていないと思う」又は「ほとんど手入れをしていないと思う」と回答した者に、必要最小限の手入れまではできていない主な理由について尋ねたところ、「手入れをする労働力が不足しているため」と回答した割合が76.6%、「手入れに要する費用を負担できないため」と回答した割合が74.5%と高く、次いで「国や地方自治体による資金面や技術面での支援が不十分なため」(46.8%)、「高性能林業機械の導入や路網の整備が遅れているため」(27.7%)の順であった。

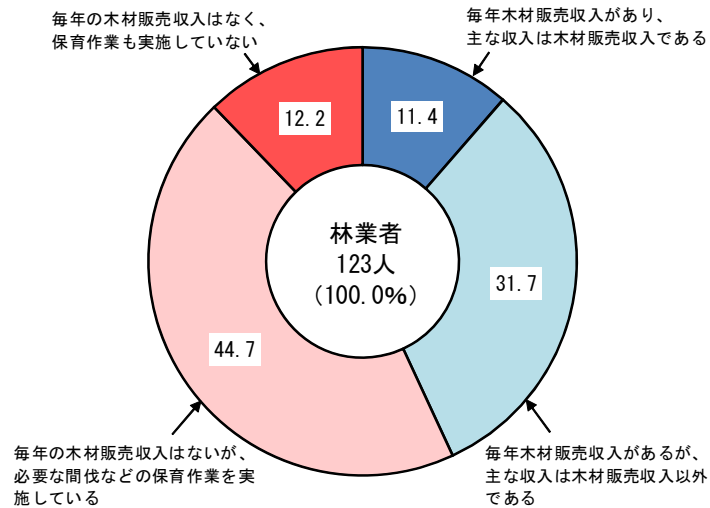
図 1-3 必要最小限の手入れまではできていない主な理由 (複数回答)



エ 現在の林業経営の状況

現在の林業経営の状況について、「毎年の木材販売収入はないが、必要な間伐などの保育作業を実施している」と回答した割合が44.7%と最も高く、次いで「毎年木材販売収入があるが、主な収入は木材販売収入以外である」(31.7%)、「毎年の木材販売収入はなく、保育作業も実施していない」(12.2%)の順であった。

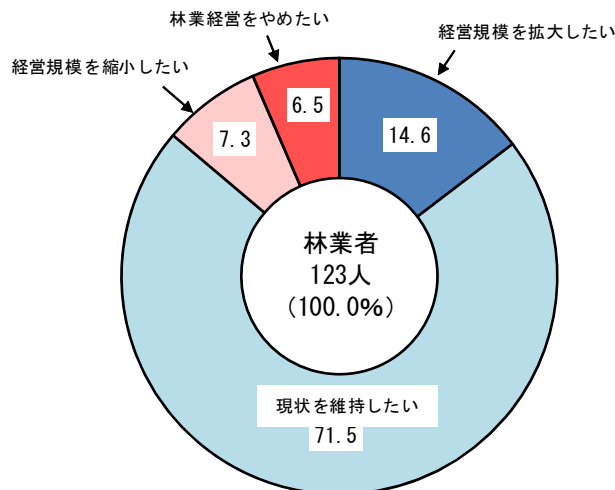
図 1-4 現在の林業経営の状況



オ 林業経営規模の意向

今後の森林の保有面積、雇用人数、機械台数等の経営規模（受託を含む。）について、「現状を維持したい」と回答した割合が71.5%と最も高く、次いで「経営規模を拡大したい」(14.6%)、「経営規模を縮小したい」(7.3%)の順であった。

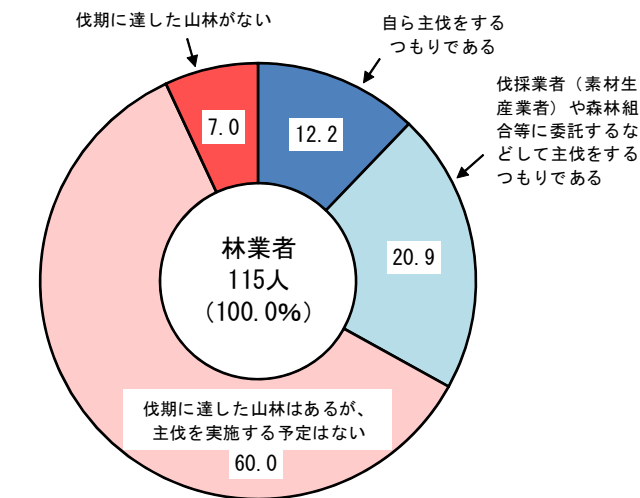
図 1-5 林業経営規模の意向



カ 今後5年間の主伐に関する意向

今後も経営を継続する意向がある者（今後の経営規模を拡大したい、現状を維持したい、縮小したいと回答した者）に、今後5年間の主伐の実施予定について尋ねたところ、「伐期に達した山林はあるが、主伐を実施する予定はない」と回答した割合が60.0%と最も高く、次いで「伐採業者（素材生産業者）や森林組合等に委託するなどして主伐をするつもりである」（20.9%）、「自ら主伐をするつもりである」（12.2%）の順であった。

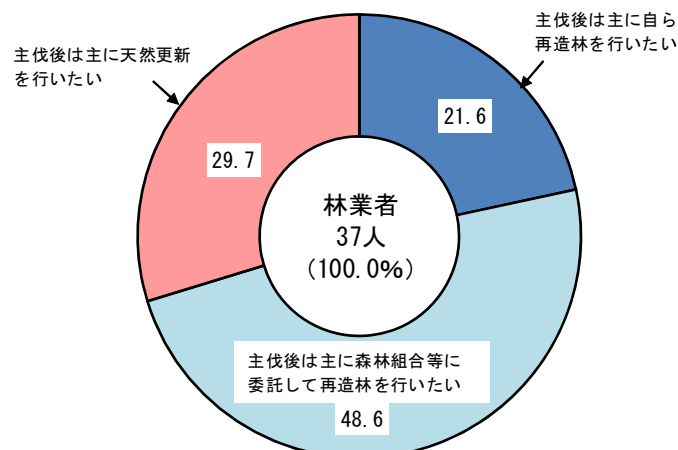
図1-6 今後5年間の主伐に関する意向



キ 主伐後の更新に関する意向

今後5年間に主伐を実施するつもりであると回答した者に、主伐後の更新について尋ねたところ、「主伐後は主に森林組合等に委託して再造林を行いたい」と回答した割合が48.6%と最も高く、次いで「主伐後は主に天然更新を行いたい」（29.7%）、「主伐後は主に自ら再造林を行いたい」（21.6%）の順であった。

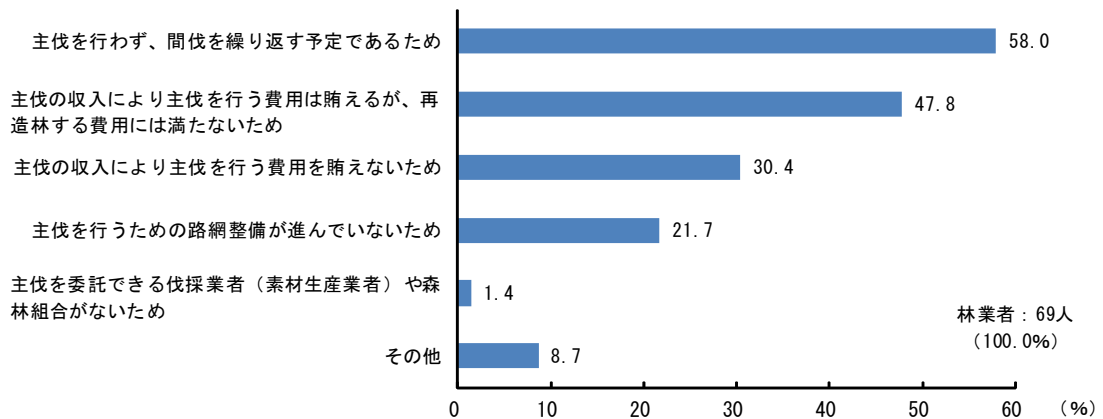
図1-7 主伐後の更新に関する意向



ク 主伐を実施しない理由

伐期に達した山林はあるが今後5年間に主伐を実施する予定はないと回答した者に、主伐を実施しない理由について尋ねたところ、「主伐を行わず、間伐を繰り返す予定であるため」と回答した割合が58.0%と最も高く、次いで「主伐の収入により主伐を行う費用は賄えるが、再造林する費用には満たないため」(47.8%)、「主伐の収入により主伐を行う費用を賄えないため」(30.4%)の順であった。

図1-8 主伐を実施しない理由（複数回答）

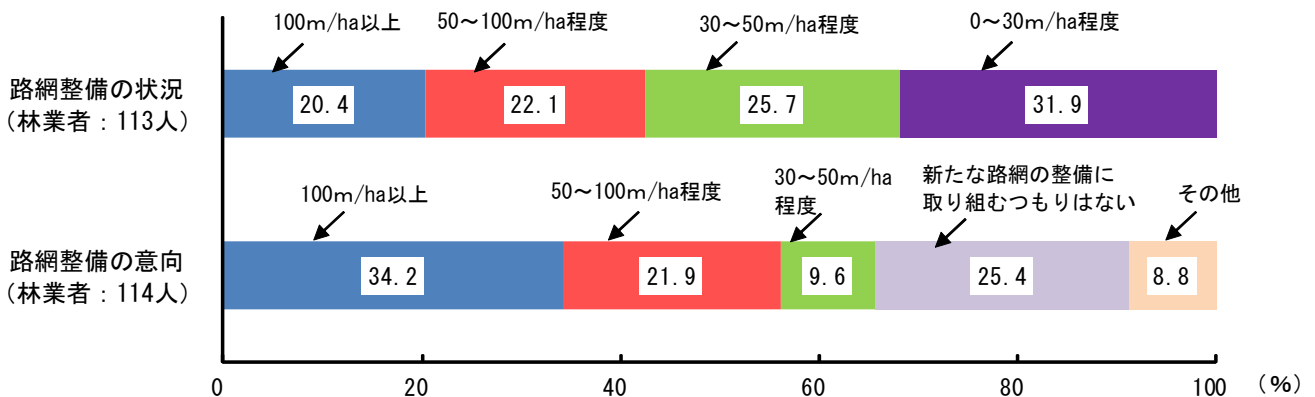


ケ 路網整備の状況と意向

今後も経営を継続する意向がある者に、現在の路網整備の状況について尋ねたところ、「0~30m/ha程度の路網密度である」と回答した割合が31.9%と最も高く、次いで「30~50m/ha程度の路網密度である」(25.7%)、「50~100m/ha程度の路網密度である」(22.1%)の順であった。

また、今後の路網の整備について尋ねたところ、「100m/ha以上の路網密度を目指したい」と回答した割合が34.2%と最も高く、次いで「新たな路網の整備に取り組むつもりはない」(25.4%)、「50~100m/ha程度の路網密度を目指したい」(21.9%)の順であった。

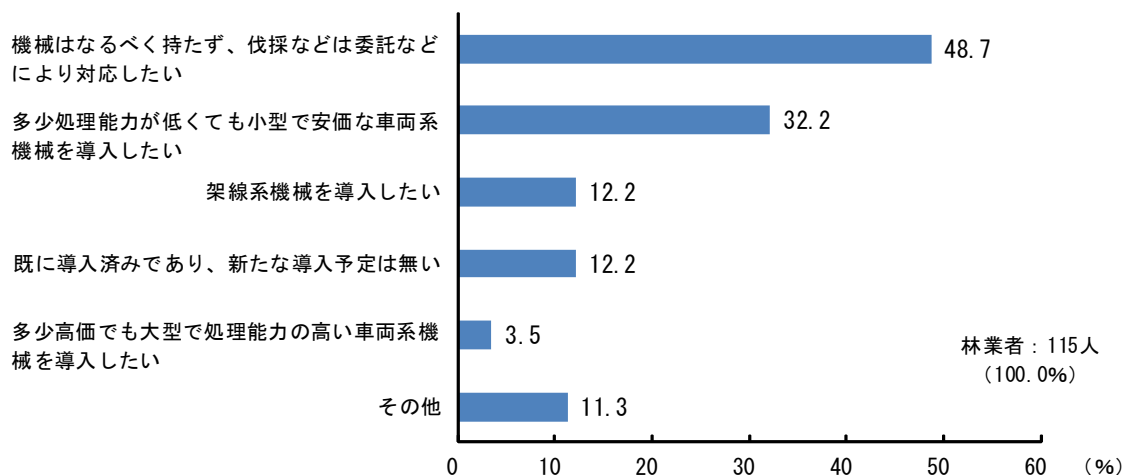
図1-9 路網整備の状況と意向



コ 林業の機械化の意向

今後も経営を継続する意向がある者に、今後導入したい林業機械について尋ねたところ、「機械はなるべく持たず、伐採などは委託などにより対応したい」と回答した割合が48.7%と最も高く、次いで「多少処理能力が低くても小型で安価な車両系機械を導入したい」(32.2%)、「架線系機械を導入したい」(12.2%)、「既に導入済みであり、新たな導入予定は無い」(12.2%)の順であった。

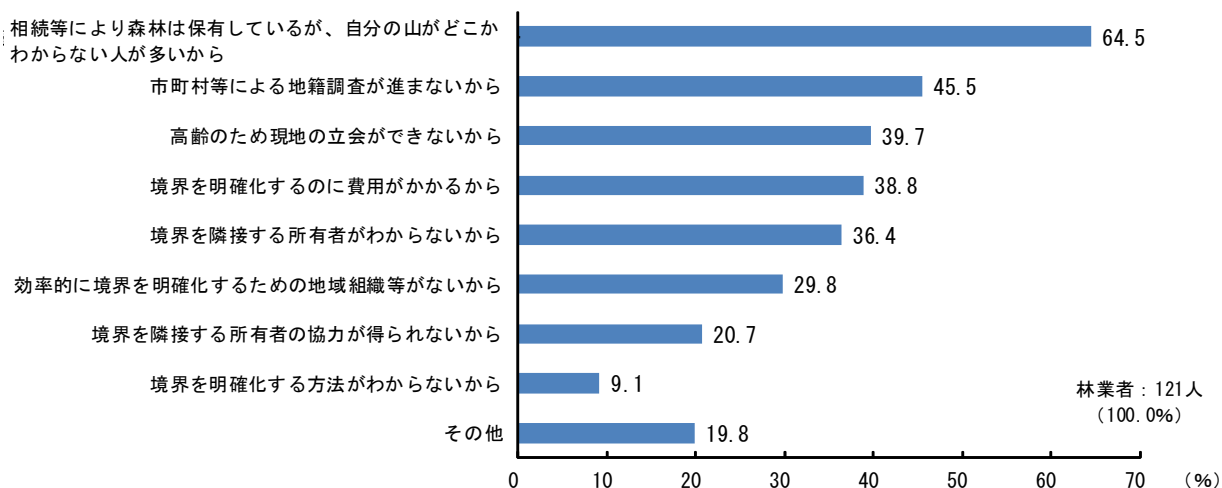
図1-10 林業の機械化の意向（複数回答2つまで）



サ 森林の境界の明確化が進まない理由

森林の境界の明確化が進まない理由について、「相続等により森林は保有しているが、自分の山がどこかわからない人が多いから」と回答した割合が64.5%と最も高く、次いで「市町村等による地籍調査が進まないから」(45.5%)、「高齢のため現地の立ち合いができないから」(39.7%)の順であった。

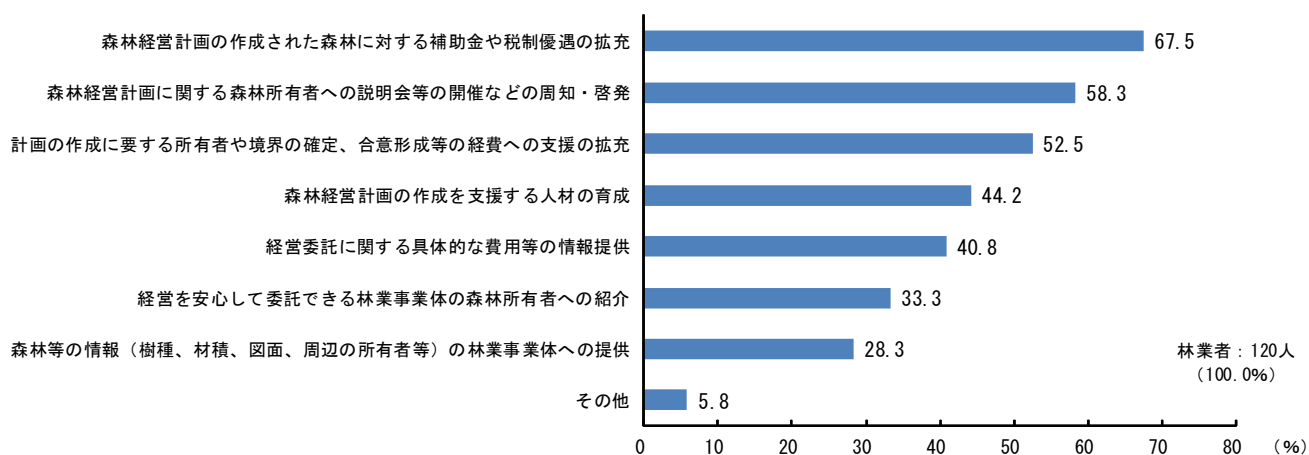
図1-11 森林の境界の明確化が進まない理由（複数回答）



シ 森林経営計画の作成を進めるために必要な取組・支援

森林経営計画の作成を森林所有者自ら又は林業事業者等への委託により進めるために必要な取組・支援について、「森林経営計画の作成された森林に対する補助金や税制優遇の拡充」と回答した割合が67.5%と最も高く、次いで「森林経営計画に関する森林所有者への説明会等の開催などの周知・啓発」（58.3%）、「計画の作成に要する所有者や境界の確定、合意形成等の経費への支援の拡充」（52.5%）の順であった。

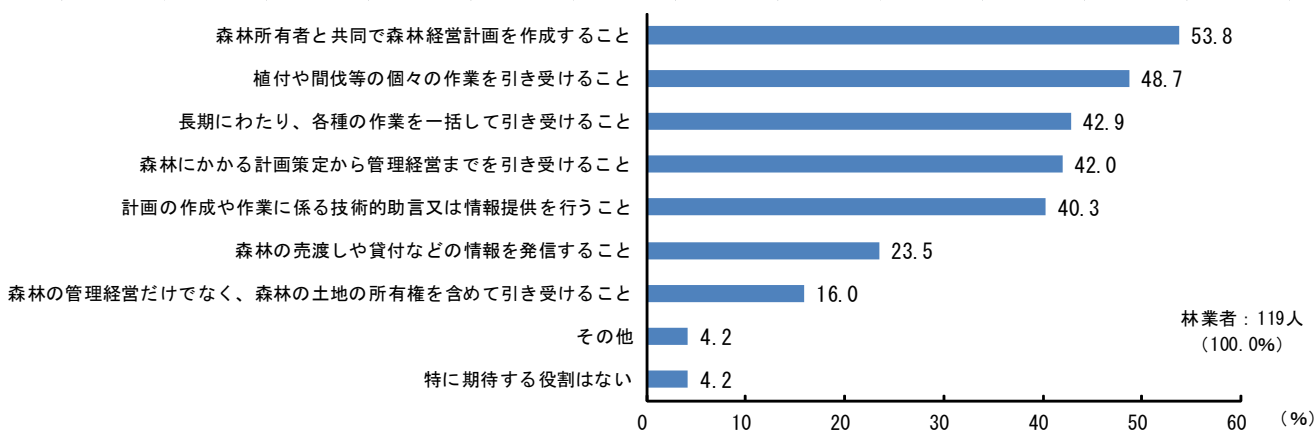
図 1-12 森林経営計画の作成を進めるために必要な取組・支援（複数回答）



ス 伐採業者や森林組合などに期待する役割

伐採業者（素材生産業者）や森林組合などに期待する役割について、「森林所有者と共同で森林経営計画を作成すること」と回答した割合が53.8%と最も高く、次いで「植付や間伐等の個々の作業を引き受けること」（48.7%）、「長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること」（42.9%）の順であった。

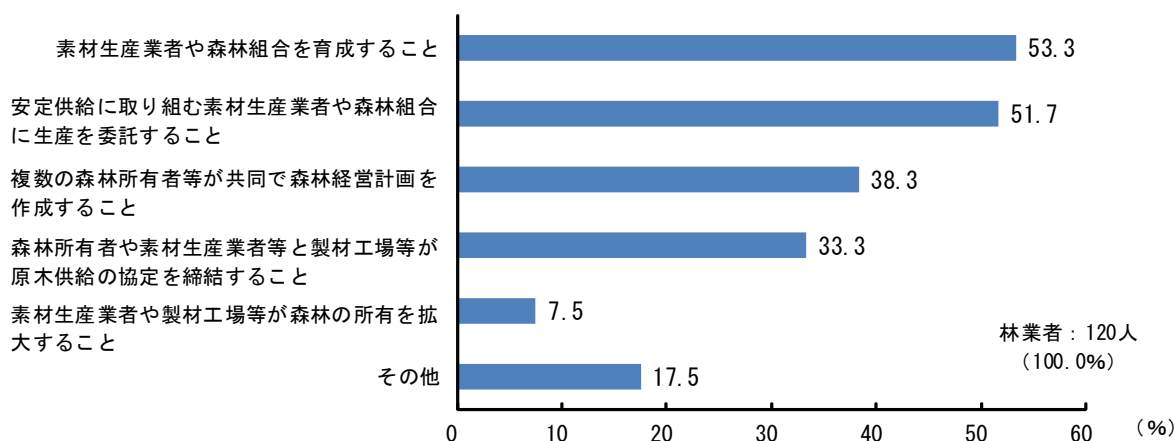
図 1-13 伐採業者や森林組合などに期待する役割（複数回答）



(2) 国産材の利用について

木材需要に応じた原木の安定供給のための効果的な取組について、「素材生産業者や森林組合を育成すること」と回答した割合が53.3%と最も高く、次いで「安定供給に取り組む素材生産業者や森林組合に生産を委託すること」（51.7%）、「複数の森林所有者等が共同で森林経営計画を作成すること」（38.3%）の順であった。

図 1-14 木材需要に応じた原木供給のための効果的な取組（複数回答）



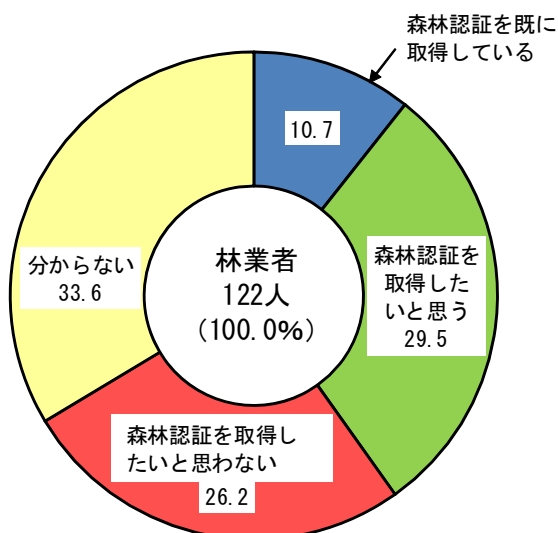
(3) 森林認証について

ア 森林認証取得の取組

森林認証取得の取組^{注1}について、「分からない」と回答した割合が33.6%と最も高く、次いで「森林認証を取得したいと思う」（29.5%）、「森林認証を取得したいと思わない」（26.2%）の順であった。

注1： 適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを第三者機関が認証（森林認証）し、それらの森林から生産された木材・木材製品を分別し、表示管理することにより、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取組。

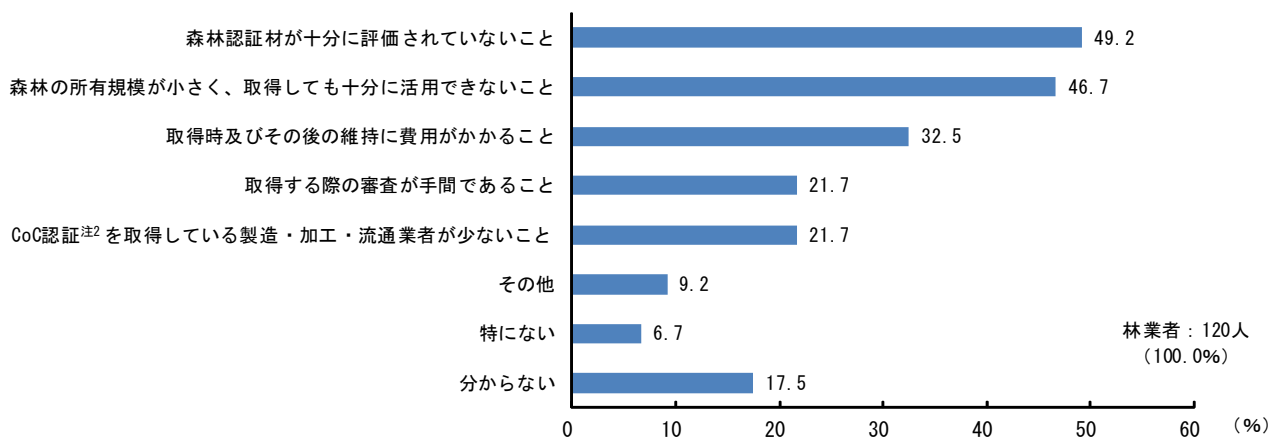
図 1-15 森林認証取得の取組



イ 森林認証取得にあたり最も障害と思われること

森林認証の取得にあたり最も障害と思われることについて、「森林認証材が十分に評価されていないこと」と回答した割合が49.2%と最も高く、次いで「森林の所有規模が小さく、取得しても十分に活用できないこと」（46.7%）、「取得時及びその後の維持に費用がかかること」（32.5%）の順であった。

図 1-16 森林認証取得にあたり最も障害と思われること（複数回答）

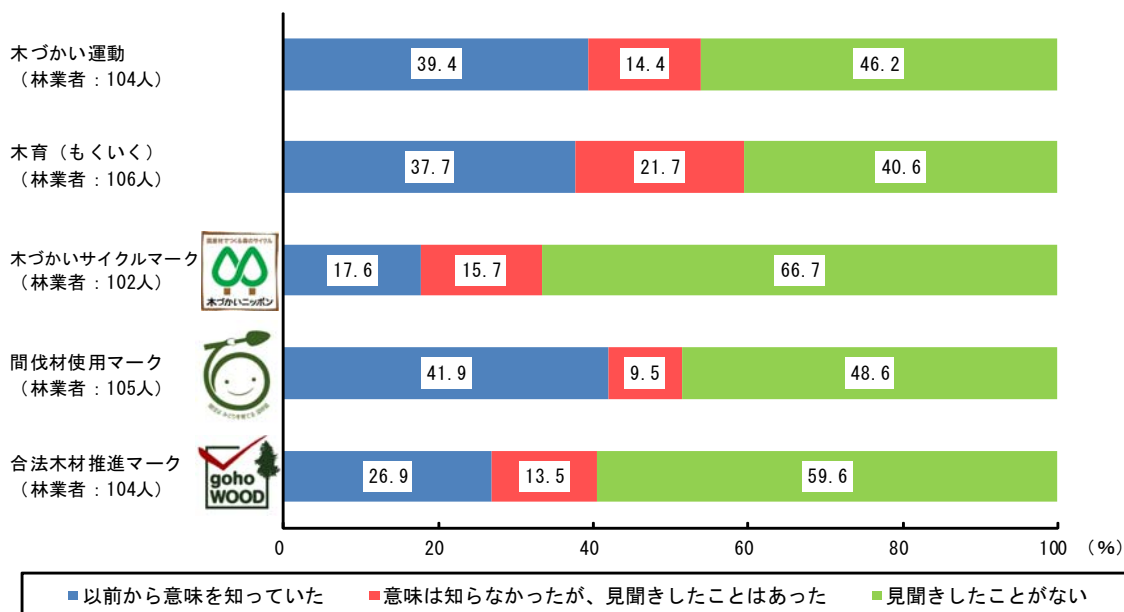


注2： 森林認証材が非認証材と混合しないよう、各工場における木材及び木材製品の分別管理体制を第三者機関が審査し承認する制度。

(4) 単語・マークの認知度について

単語・マークの認知度について、「意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった」まで含めると、「木育（もくいく）」の認知度が最も高く6割近くとなっており、次いで「木づかい運動」及び「間伐材使用マーク」が約5割、「合法木材推進マーク」が約4割、「木づかいサイクルマーク」が約3割であった。

図 1-17 単語・マークの認知度



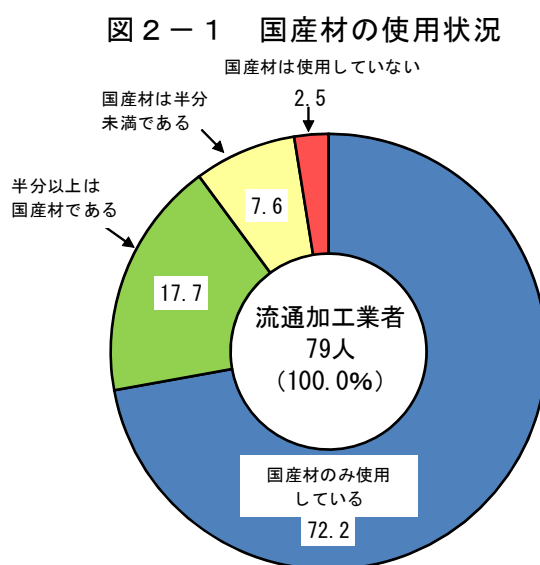
2 流通加工業者モニターに対する調査結果

— 林業や地域経済の活性化に貢献の点で国産材の利用拡大が重要との回答が9割—

(1) 国産材の利用について

ア 国産材の使用状況

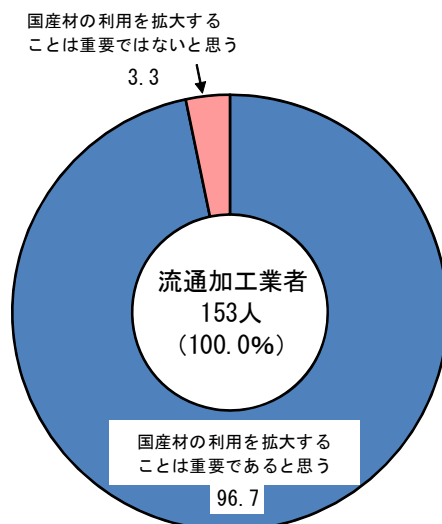
主な業種が製材の生産、集成材、合板、チップ、パーティクルボードなどの製造、木材の圧縮、防腐処理であると回答した者に、国産材の使用状況について尋ねたところ、「国産材のみ使用している」と回答した割合が72.2%と最も高く、次いで「半分以上は国産材である」(17.7%)、「国産材は半分未満である」(7.6%)、「国産材は半分未満である」(7.6%)の順であった。



イ 製品・商品の原材料としての国産材の利用拡大

製品・商品の原材料として国産材を利用拡大することについて、「国産材の利用を拡大することは重要であると思う」と回答した割合が96.7%であった。

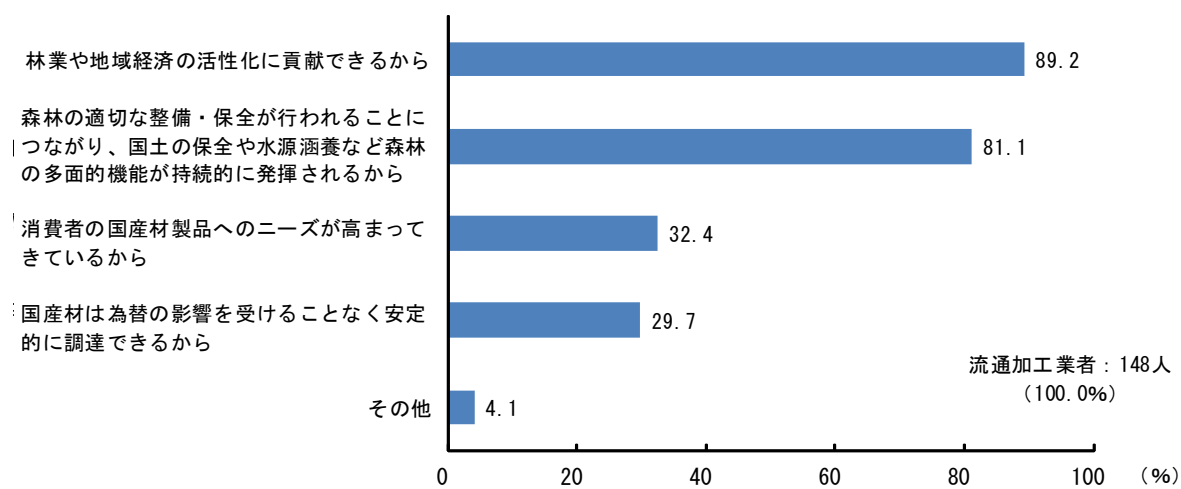
図 2-2 製品・商品の原材料としての国産材の利用拡大



ウ 国産材の利用を拡大することは重要だと思う理由

国産材の利用を拡大することは重要だと思うと回答した者に、重要だと思う理由について尋ねたところ、「林業や地域経済の活性化に貢献できるから」と回答した割合が89.2%と最も高く、次いで「森林の適切な整備・保全が行われることにつながり、国土の保全や水源涵養など森林の多面的機能が持続的に発揮されるから」（81.1%）、「消費者の国産材製品へのニーズが高まってきているから」（32.4%）の順であった。

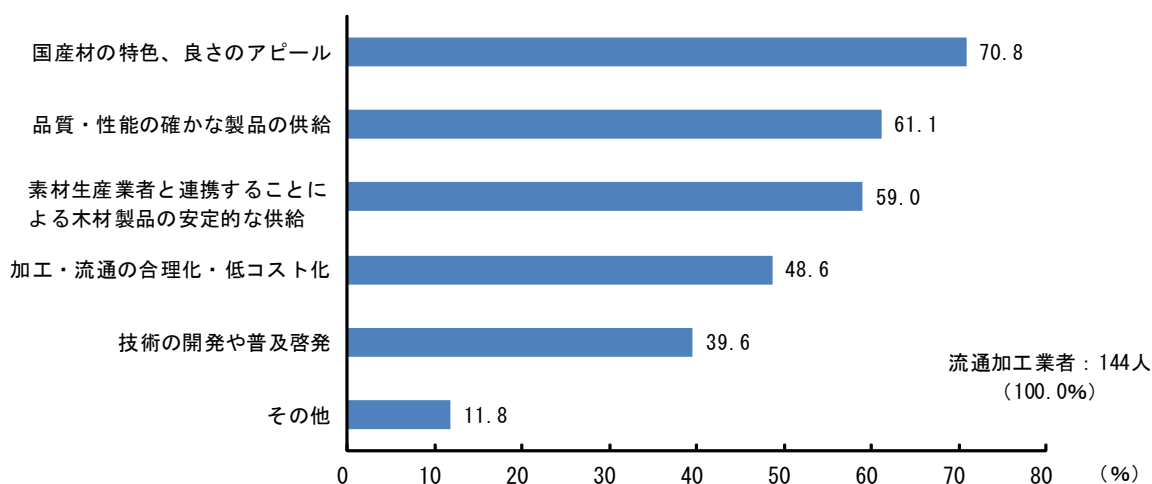
図 2-3 国産材の利用を拡大することは重要だと思う理由（複数回答）



エ 国産材の利用を拡大するために必要な取組

国産材の利用を拡大することは重要だと思うと回答した者に、国産材の利用を拡大するために必要な取組について尋ねたところ、「国産材の特色、良さのアピール」と回答した割合が70.8%と最も高く、次いで「品質・性能の確かな製品の供給」（61.1%）、「素材生産業者と連携することによる木材製品の安定的な供給」（59.0%）の順であった。

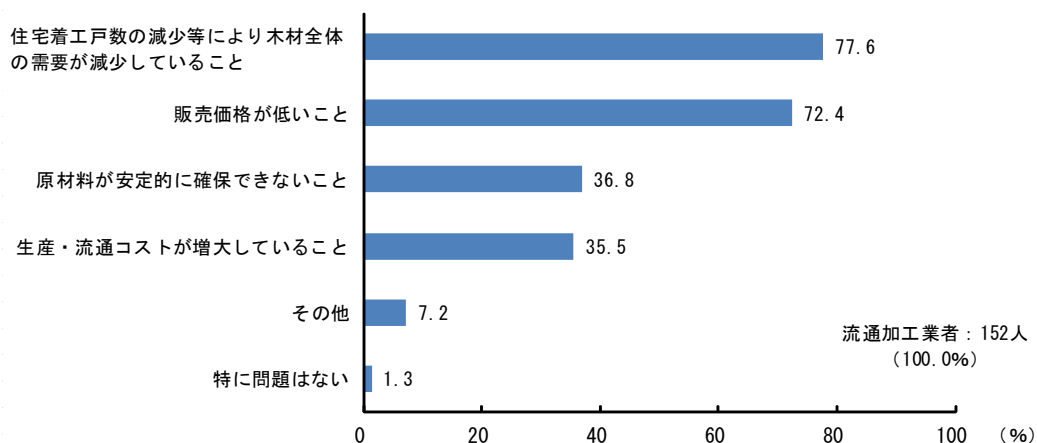
図 2-4 国産材の利用を拡大するために必要な取組（複数回答）



オ 製品・商品を取り扱う上での問題点

製品や商品を取り扱う上での問題点について、「住宅着工戸数の減少等により木材全体の需要が減少していること」と回答した割合が77.6%と最も高く、次いで「販売価格が低いこと」（72.4%）、「原材料が安定的に確保できないこと」（36.8%）、「生産・流通コストが増大していること」（35.5%）の順であった。

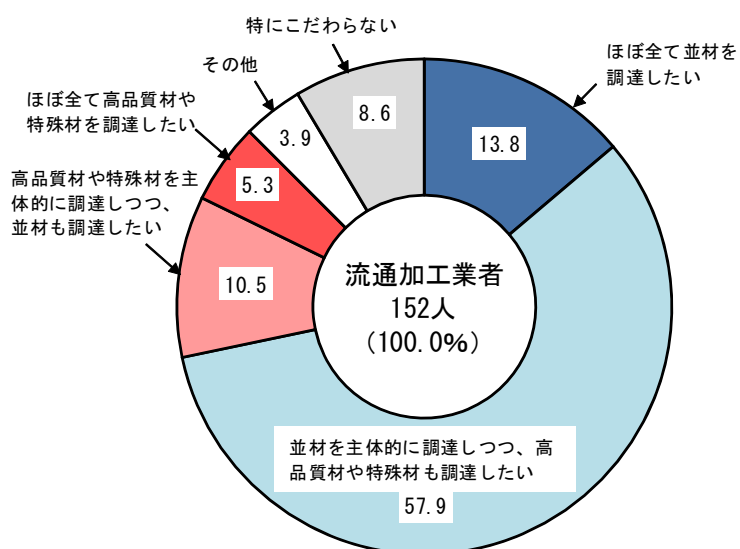
図2-5 製品・商品を取り扱う上での問題点（複数回答）



カ 素材の調達

素材の調達について、「並材を主体的に調達しつつ、高品質材や特殊材も調達したい」と回答した割合が57.9%と最も高く、次いで「ほぼ全て並材を調達したい」（13.8%）、「高品質材や特殊材を主体的に調達しつつ、並材も調達したい」（10.5%）の順であった。

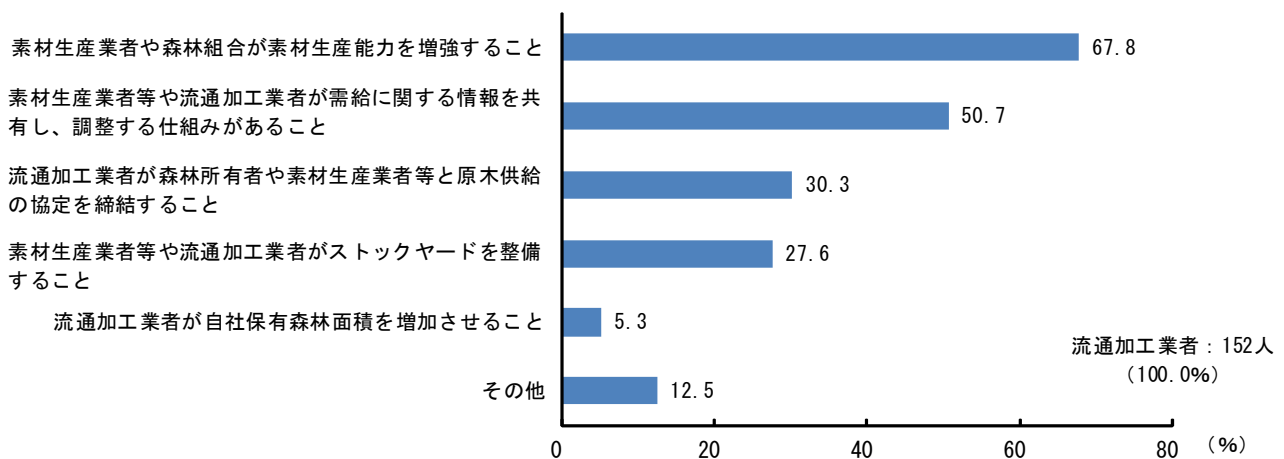
図2-6 素材の調達



キ 原木の安定調達を図るために必要な取組

原木の安定調達を図るために必要な取組について、「素材生産業者や森林組合が素材生産能力を増強すること」と回答した割合が67.8%と最も高く、次いで「素材生産業者等や流通加工業者が需給に関する情報を共有し、調整する仕組みがあること」(50.7%)、「流通加工業者が森林所有者や素材生産業者等と原木供給の協定を締結すること」(30.3%)の順であった。

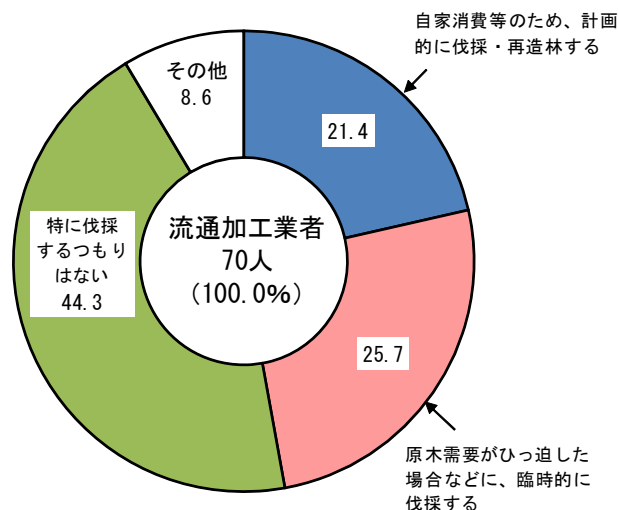
図2-7 原木の安定調達を図るために必要な取組（複数回答）



(2) 保有している森林の取扱予定

森林を保有している者に、保有している森林の取扱予定について尋ねたところ、「特に伐採するつもりはない」と回答した割合が44.3%と最も高く、次いで「原木需要がひっ迫した場合などに、臨時的に伐採する」(25.7%)、「自家消費等のため、計画的に伐採・再造林する」(21.4%)の順であった。

図2-8 保有している森林の取扱予定



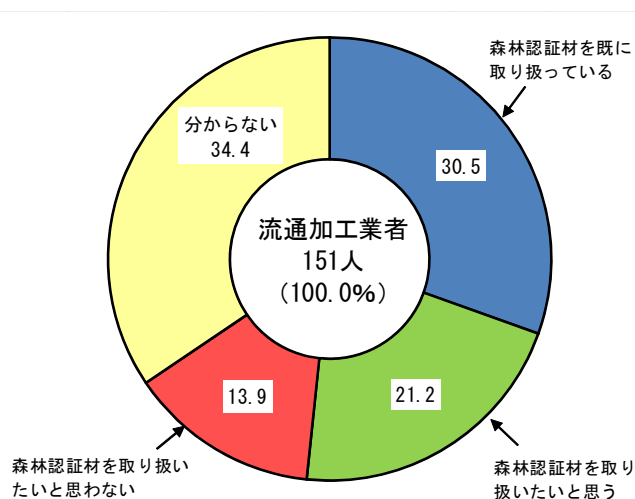
(3) 森林認証材の取扱いについて

ア 森林認証材の取扱い

森林認証材^{注3}の取扱いについて、「分からない」と回答した割合が34.4%と最も高く、次いで「森林認証材を既に取り扱っている」(30.5%)、「森林認証材を取り扱いたいと思う」(21.2%)の順であった。

注3：持続可能な森林経営が行われているなどと第三者機関が認証した森林から生産された木材。

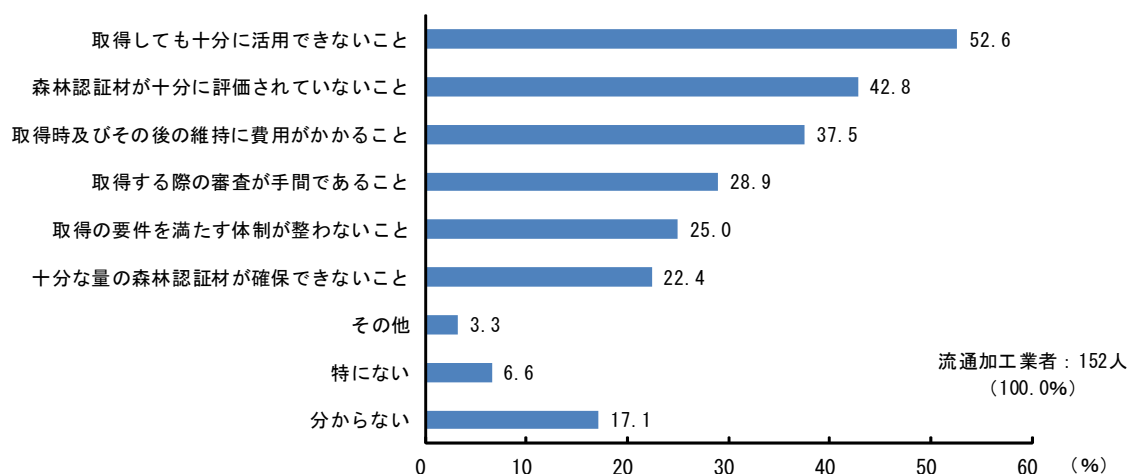
図2-9 森林認証材の取扱い



イ CoC認証の取得にあたり最も障害と思われること

森林認証材を取り扱う際に必要となるCoC認証の取得にあたり、最も障害と思われることについて、「取得しても十分に活用できないこと」と回答した割合が52.6%と最も高く、次いで「森林認証材が十分に評価されていないこと」(42.8%)、「取得時及びその後の維持に費用がかかること」(37.5%)の順であった。

図2-10 CoC認証の取得にあたり最も障害と思われること（複数回答）

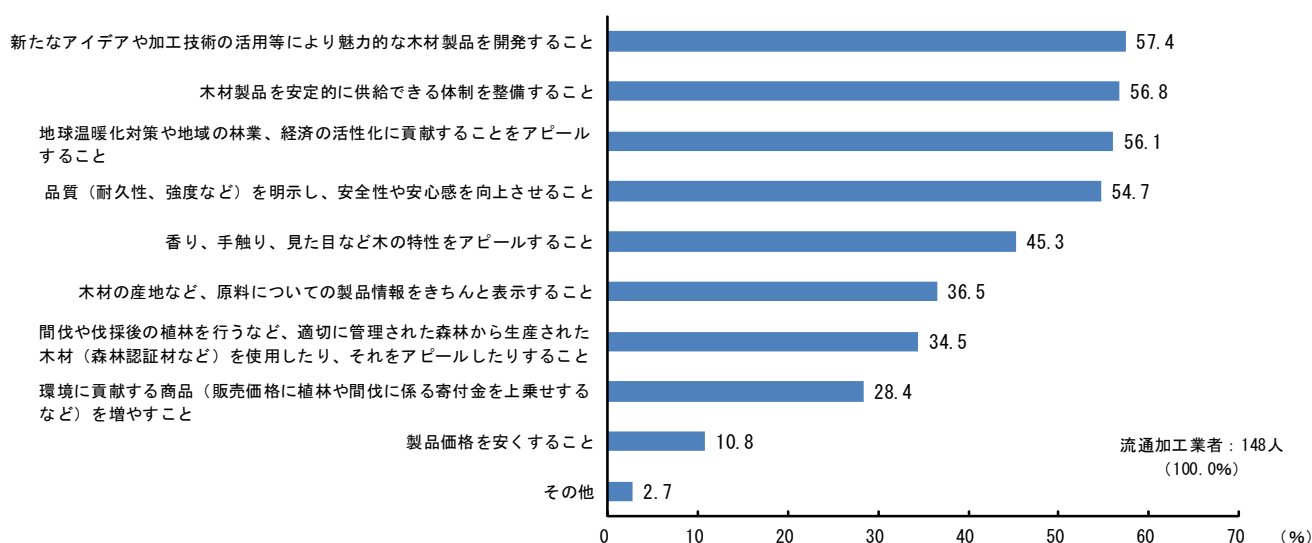


(4) 木材の利用について

ア 木材の利用を拡大するために必要と考える取組

木材の利用を拡大するために必要と考える取組について、「新たなアイデアや加工技術の活用等により魅力的な木材製品を開発すること」と回答した割合が57.4%と最も高く、次いで「木材製品を安定的に供給できる体制を整備すること」（56.8%）、「地球温暖化対策や地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールすること」（56.1%）の順であった。

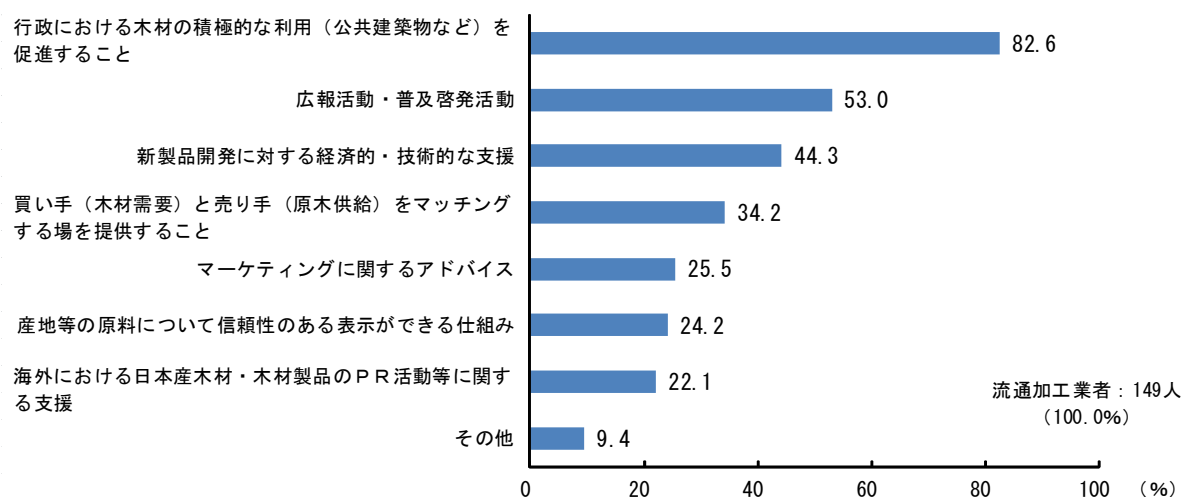
図2-11 木材の利用を拡大するために必要と考える取組（複数回答）



イ 木材の利用を拡大するために必要と考える行政のサポート

木材の利用を拡大するために必要な行政のサポートについて、「行政における木材の積極的な利用（公共建築物など）を促進すること」と回答した割合が82.6%と最も高く、次いで「広報活動・普及啓発活動」（53.0%）、「新製品開発に対する経済的・技術的な支援」（44.3%）の順であった。

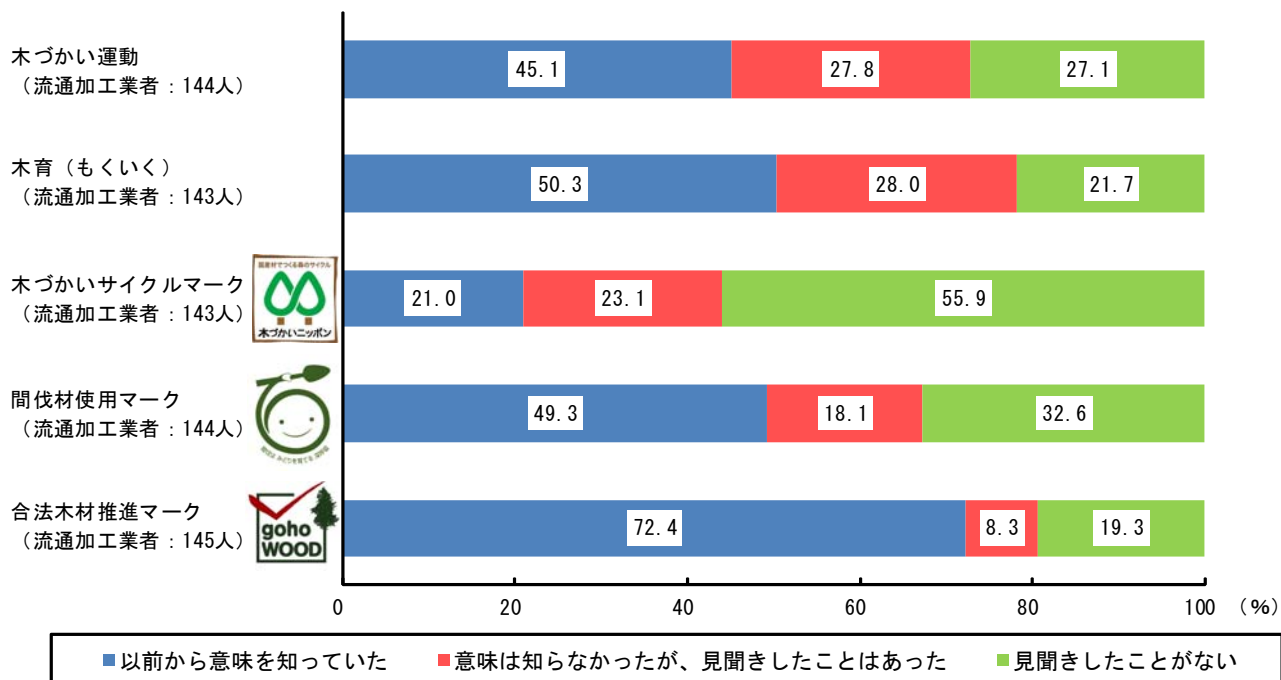
図2-12 木材の利用を拡大するために必要と考える行政のサポート（複数回答）



(5) 単語・マークの認知度について

単語・マークの認知度について、「意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった」まで含めると、「合法木材推進マーク」及び「木育（もくいく）」の認知度が約8割と高くなっており、次いで「木づかい運動」及び「間伐材使用マーク」が約7割、「木づかいサイクルマーク」が約4割であった。

図 2-13 単語・マークの認知度



3 消費者モニターに対する調査結果

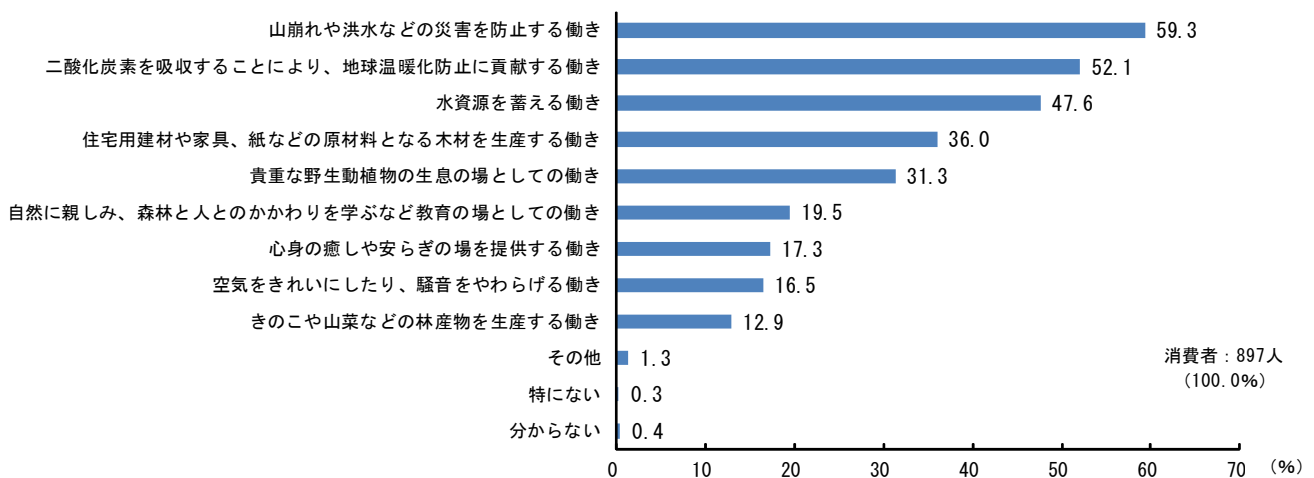
－ 森林の山崩れや洪水などの災害を防止する働きへの期待が6割 －

(1) 森林の役割と森林づくりについて

ア 森林に期待する役割

今後期待する森林の働きについて、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」と回答した割合が59.3%と最も高く、次いで「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」（52.1%）、「水資源を蓄える働き」（47.6%）の順であった。

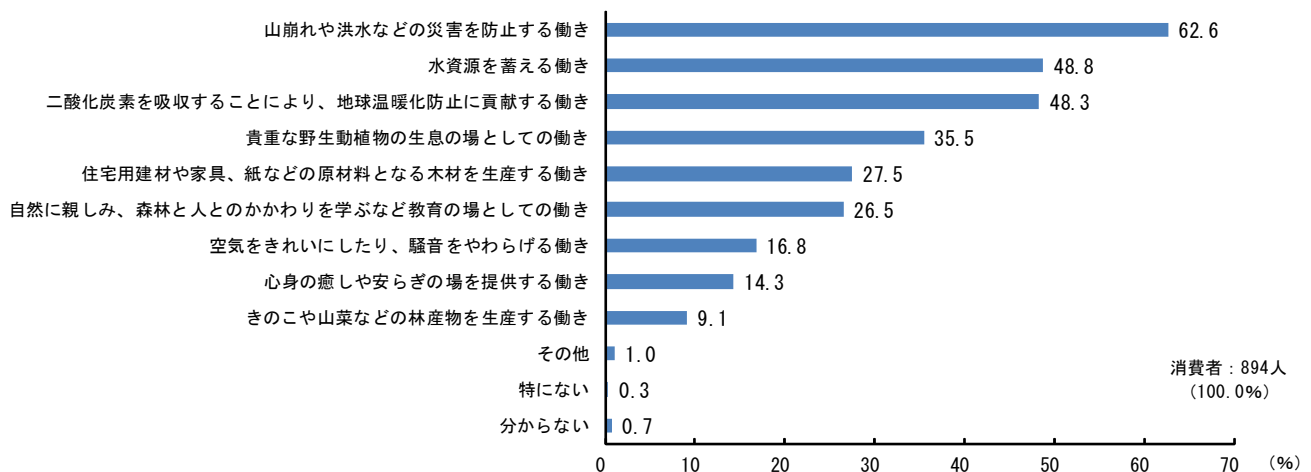
図3-1 森林に期待する役割（複数回答3つまで）



イ 国有林に期待する役割

今後期待する国有林の働きについて、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」と回答した割合が62.6%と最も高く、次いで「水資源を蓄える働き」（48.8%）、「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」（48.3%）の順であった。

図3-2 国有林に期待する役割（複数回答3つまで）

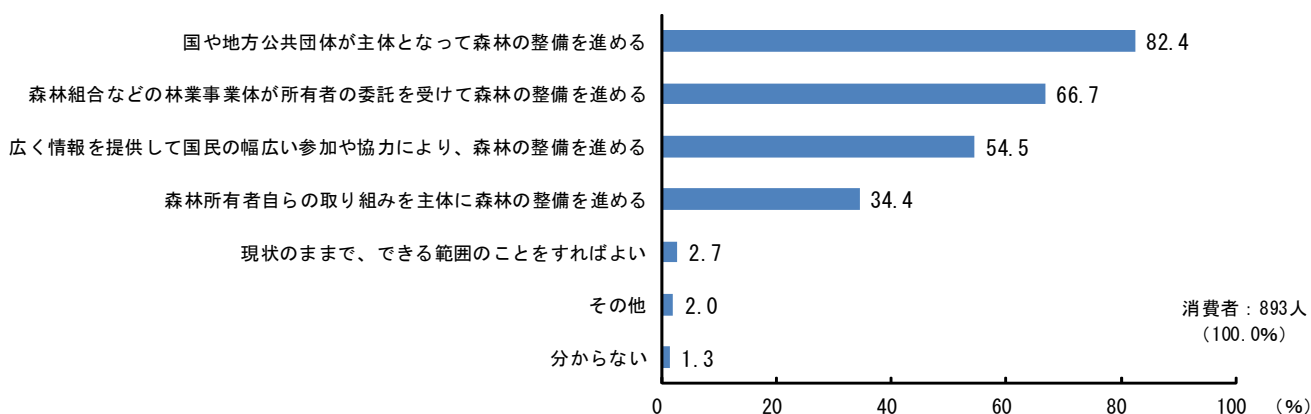


(2) 森林の整備について

ア 森林整備を進めるべき主体

森林の働きを持続的に発揮させていく上で、積極的に森林の整備を進めるべき主体について、「国や地方公共団体が主体となって森林の整備を進める」と回答した割合が82.4%と最も高く、次いで「森林組合などの林業事業者が所有者の委託を受けて森林の整備を進める」(66.7%)、「広く情報を提供して国民の幅広い参加や協力により、森林の整備を進める」(54.5%)の順であった。

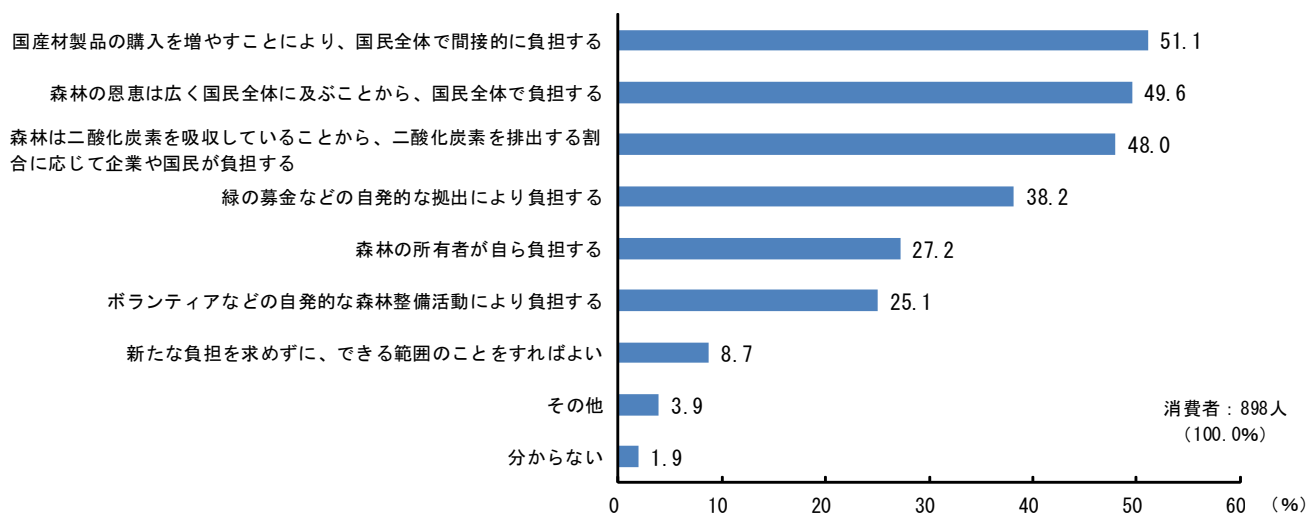
図3-3 森林整備を進めるべき主体（複数回答）



イ 森林整備の費用負担のあり方

森林整備の推進に必要な費用負担について、「国産材製品の購入を増やすことにより、国民全体で間接的に負担する」と回答した割合が51.1%と最も高く、次いで「森林の恩恵は広く国民全体に及ぶことから、国民全体で負担する」(49.6%)、「森林は二酸化炭素を吸収していることから、二酸化炭素を排出する割合に応じて企業や国民が負担する」(48.0%)の順であった。

図3-4 森林整備の費用負担のあり方（複数回答）

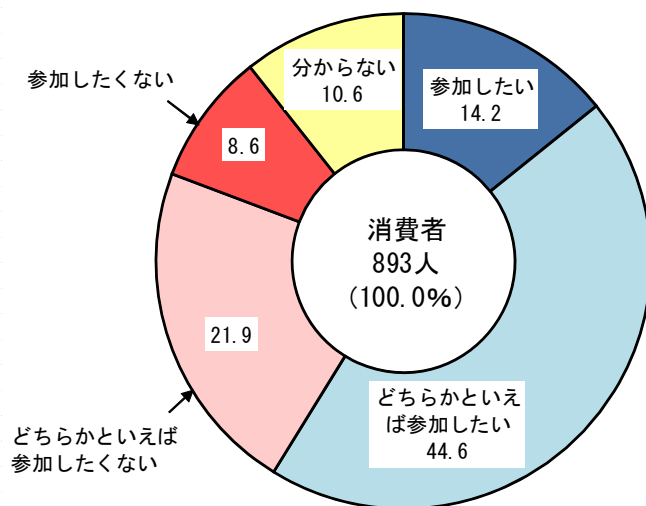


(3) 森林の利用について

ア 森林づくりのボランティア活動への参加

下草刈や間伐などの森林づくりのボランティア活動への参加について、「参加したい」又は「どちらかといえば参加したい」と回答した割合の合計は58.8%であった。

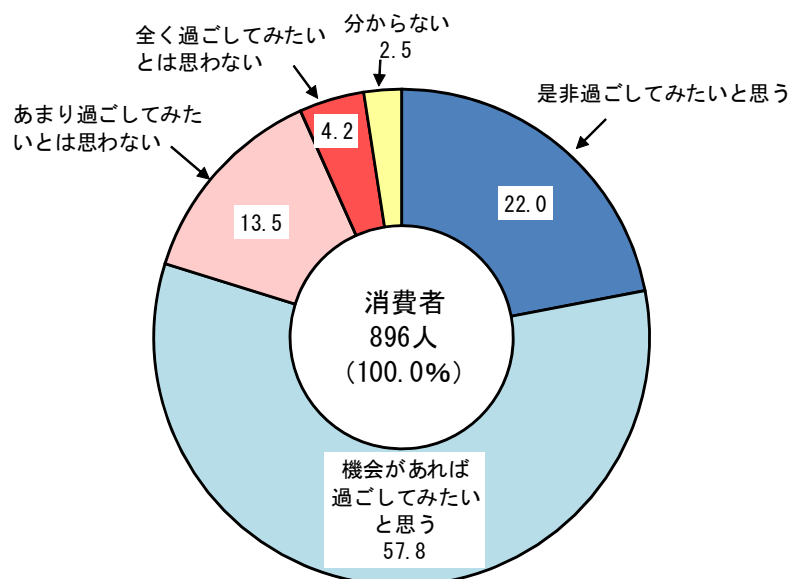
図3-5 森林づくりのボランティア活動への参加



イ 農山村滞在型の余暇生活への関心度

一定期間、緑豊かな農山村に滞在し休暇を過ごすことについて、「是非過ごしてみたいと思う」又は「機会があれば過ごしてみたいと思う」と回答した割合の合計は79.8%であった。

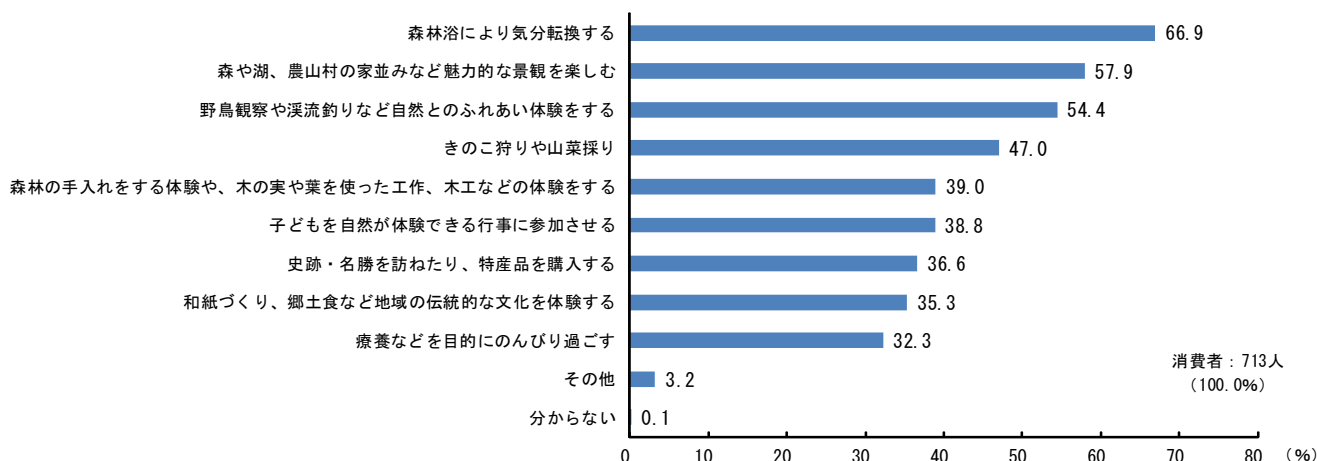
図3-6 農山村滞在型の余暇生活への関心度



ウ 森林や農山村での過ごし方

一定期間、緑豊かな農山村に滞在し、休暇を過ごしてみたいと回答した者に、森林や農山村での過ごし方について尋ねたところ、「森林浴により気分転換する」と回答した割合が66.9%と最も高く、次いで「森や湖、農山村の家並みなど魅力的な景観を楽しむ」(57.9%)、「野鳥観察や溪流釣りなど自然とのふれあい体験をする」(54.4%)の順であった。

図3-7 森林や農山村での過ごし方（複数回答）

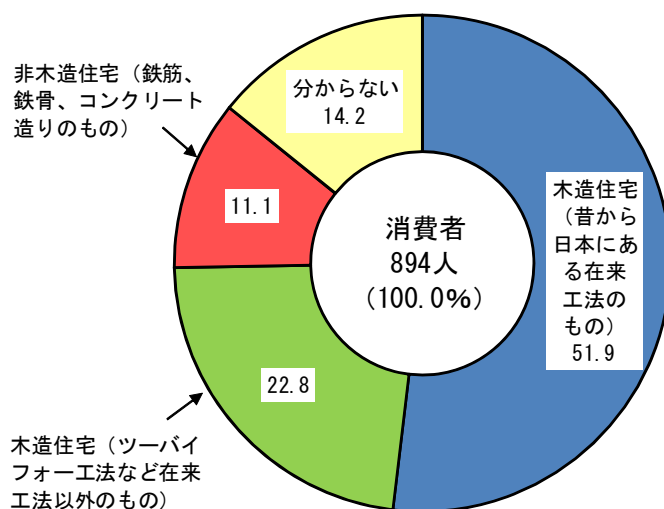


(4) 木材の利用について

ア 木造住宅の意向

今後住宅を建てたり買ったりする場合に選びたい住宅について、「木造住宅（昔から日本にある在来工法のもの）」と回答した割合が51.9%と最も高く、次いで「木造住宅（ツーバイフォー工法など在来工法以外のもの）」(22.8%)、「分からない」(14.2%)の順であった。

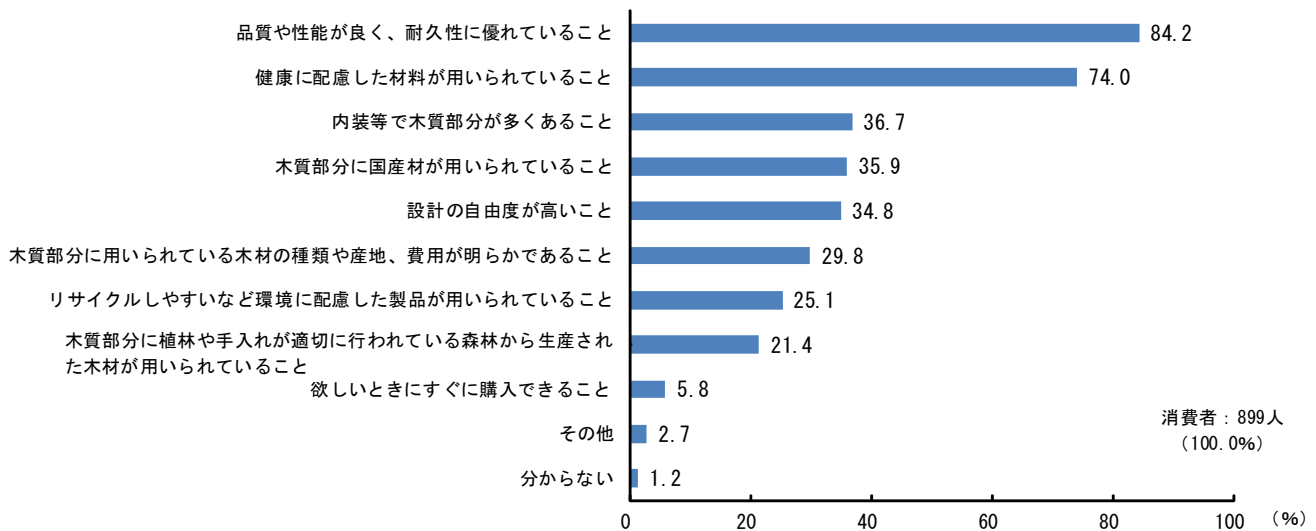
図3-8 木造住宅の意向



イ 住宅を選ぶ時に価格以外で重視すること

住宅を選ぶ時に価格以外で重視することについて、「品質や性能が良く、耐久性に優れていること」と回答した割合が84.2%と最も高く、次いで「健康に配慮した材料が用いられていること」（74.0%）、「内装等で木質部分が多くあること」（36.7%）の順であった。

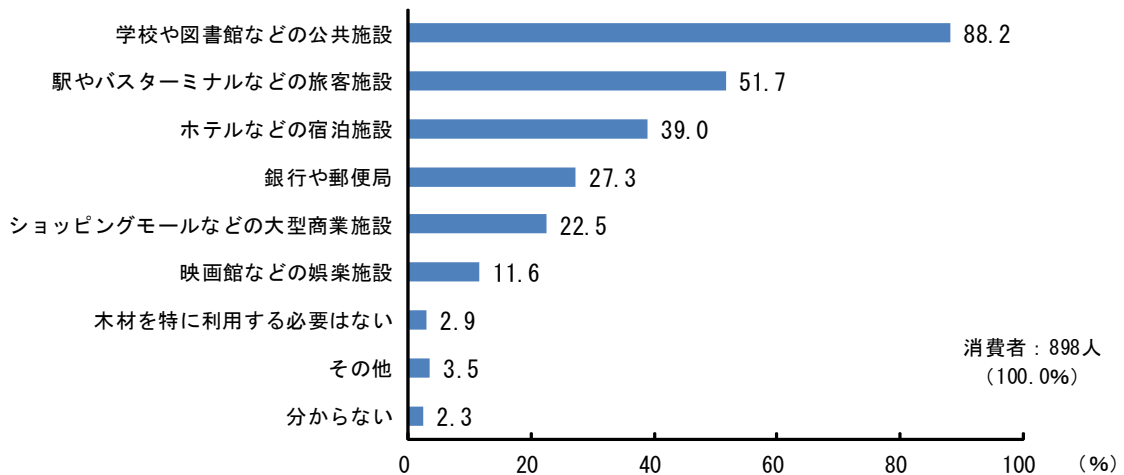
図3-9 住宅を選ぶ時に価格以外で重視すること（複数回答）



ウ 都市部への木材利用

都市部において木材が利用されることを期待する施設について、「学校や図書館などの公共施設」と回答した割合が88.2%と最も高く、次いで「駅やバスターミナルなどの旅客施設」（51.7%）、「ホテルなどの宿泊施設」（39.0%）の順であった。

図3-10 都市部への木材利用（複数回答）

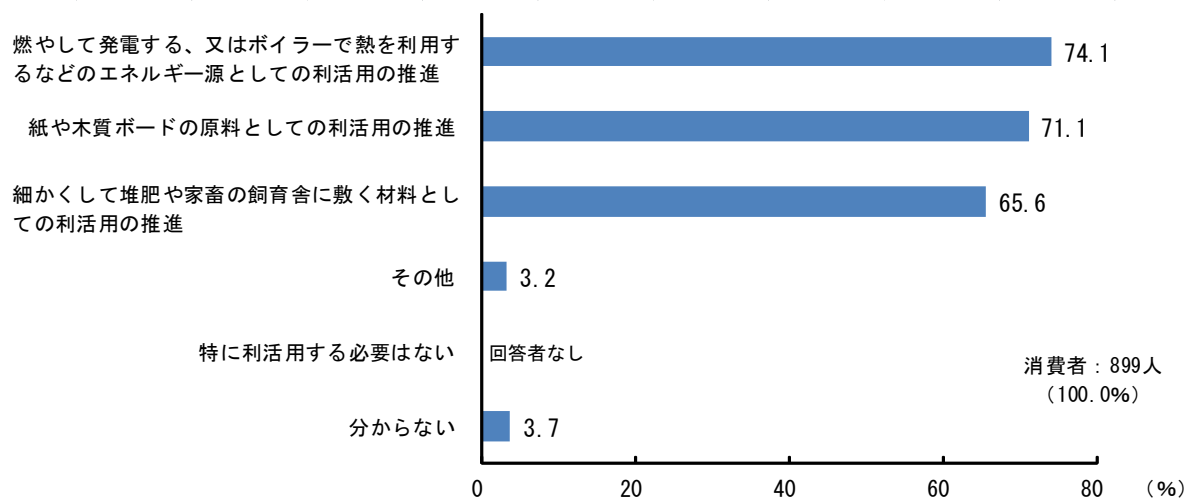


(5) 木質バイオマスの利活用方策

木質バイオマス^{注4}の利活用で今後取り組むべき方策について、「燃やして発電する、又はボイラーで熱を利用するなどのエネルギー源としての利活用の推進」と回答した割合が74.1%と最も高く、次いで「紙や木質ボードの原料としての利活用の推進」（71.1%）、「細かくして堆肥や家畜の飼育舎に敷く材料としての利活用の推進」（65.6%）の順であった。

注4： 主に①森林内に放置された間伐材や枝葉、②製材工場で発生する木くずや樹皮、③住宅の解体に伴って発生する廃材、などの木質資源。

図3-11 木質バイオマスの利活用方策（複数回答）

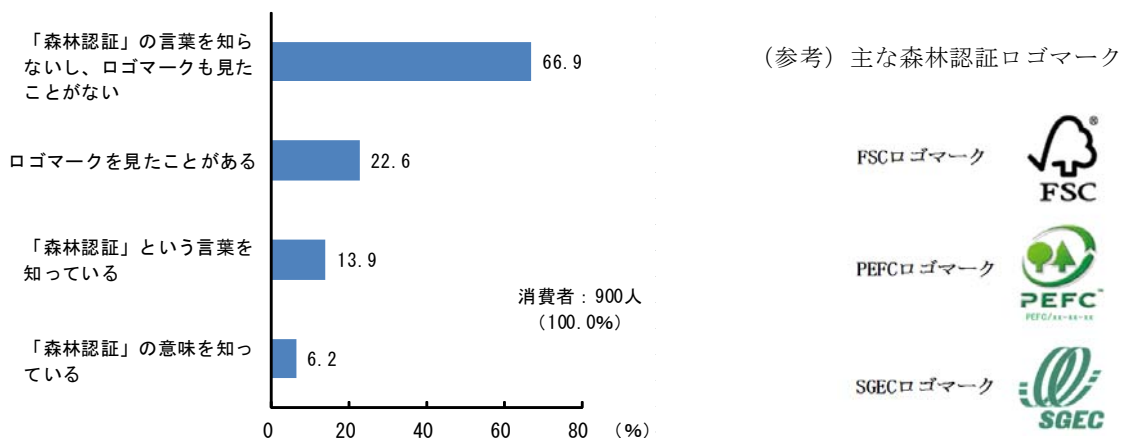


(6) 森林認証について

ア 森林認証という言葉の意味やロゴマークの認知度

森林認証という言葉の意味やロゴマークの認知度について、「「森林認証」の言葉を知らないし、ロゴマークも見ることがない」と回答した割合が66.9%と最も高く、次いで「ロゴマークを見たことがある」（22.6%）、「「森林認証」という言葉を知っている」（13.9%）の順であった。

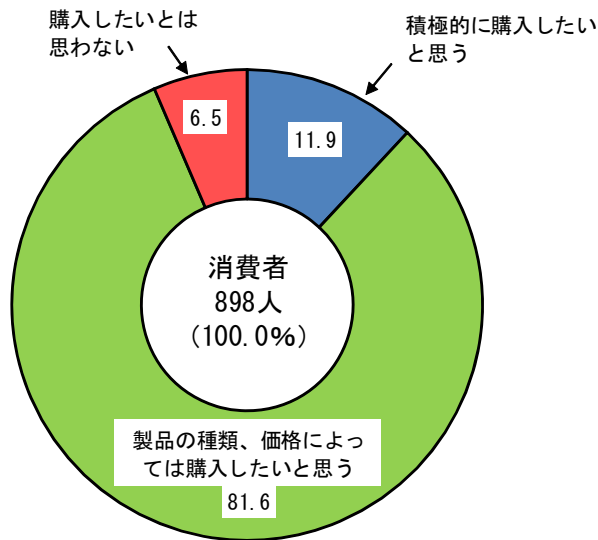
図3-12 森林認証という言葉の意味やロゴマークの認知度（複数回答）



イ 森林認証の製品の購入

森林認証の製品の購入について、「製品の種類、価格によっては購入したいと思う」と回答した割合が81.6%と最も高く、次いで「積極的に購入したいと思う」(11.9%)、「購入したいとは思わない」(6.5%)の順であった。

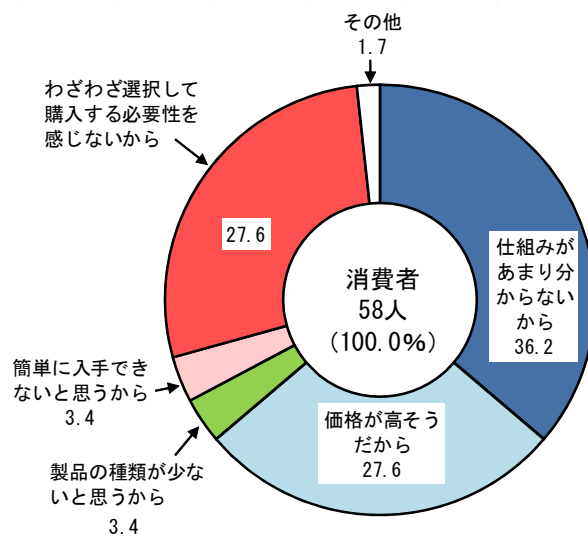
図3-13 森林認証の製品の購入



ウ 森林認証の製品を購入したいと思わない理由

森林認証の製品を購入したいと思わないと回答した者において、購入したいと思わない理由について、「仕組みがあまり分からないから」と回答した割合が36.2%と最も高く、次いで「価格が高そうだから」(27.6%)、「わざわざ選択して購入する必要性を感じないから」(27.6%)であった。

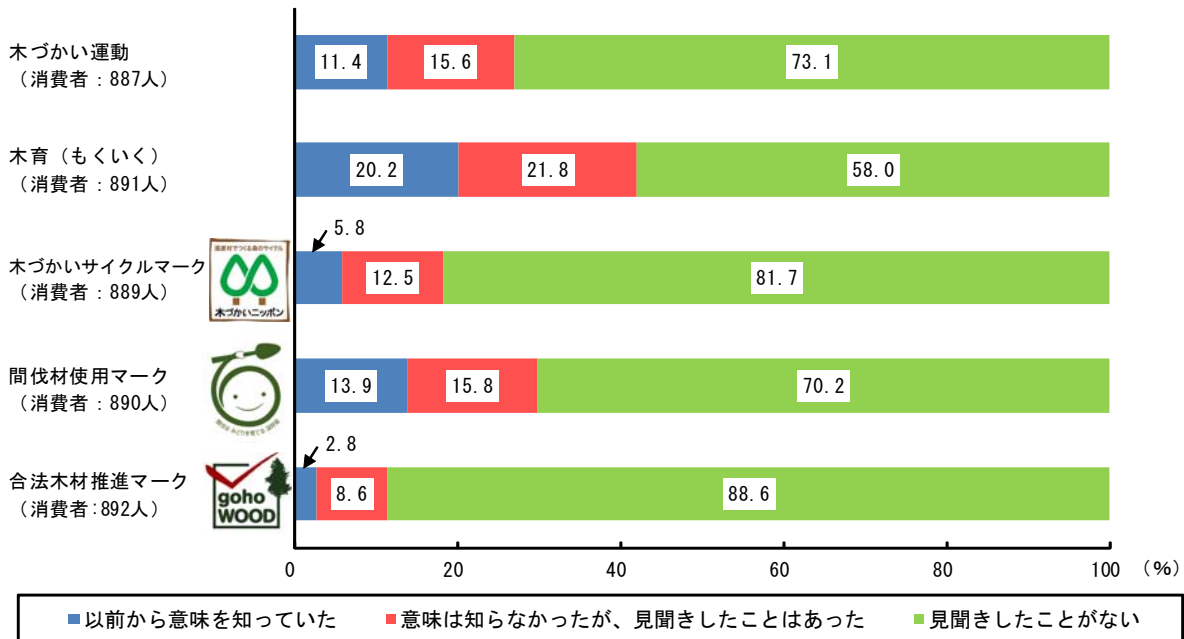
図3-14 森林認証の製品を購入したいと思わない理由



(7) 単語・マークの認知度について

単語・マークの認知度について、「意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった」まで含めると、「木育（もくいく）」の認知度が最も高く約4割となっており、次いで「間伐材使用マーク」及び「木づかい運動」が約3割、「木づかいサイクルマーク」が約2割、「合法木材推進マーク」が約1割であった。

図3-15 単語・マークの認知度



【 統 計 表 】

統計表一覧

ページ

1 林業者モニター

(1) 保有している森林面積	27
(2) 森林の手入れについて	
ア 森林の手入れ状況	27
イ 木材の生産目標	27
ウ 必要最小限の手入れまではできていない主な理由（複数回答）	27
エ 現在の林業経営の状況	27
オ 林業経営規模の意向	28
カ 今後5年間の主伐に関する意向	28
キ 主伐後の更新に関する意向	28
ク 主伐を実施しない理由（複数回答）	28
ケ 路網整備の状況	28
コ 路網整備の意向	29
サ 林業の機械化の意向（複数回答2つまで）	29
シ 森林の境界の明確化が進まない理由（複数回答）	29
ス 森林経営計画の作成を進めるために必要な取組・支援（複数回答）	29
セ 伐採業者や森林組合などに期待する役割（複数回答）	29
(3) 国産材の利用について（複数回答）	30
(4) 森林認証について	
ア 森林認証取得の取組	30
イ 森林認証取得にあたり最も障害と思われること（複数回答）	30
(5) 単語・マークの認知度について	30

2 流通加工業者モニター

(1) 経営又は所属する会社等の主な業種	31
(2) 国産材の利用について	
ア 国産材の使用状況	31
イ 製品・商品を取り扱う上での問題点（複数回答）	31
ウ 製品・商品の原材料としての国産材の利用拡大	31
エ 国産材の利用を拡大することは重要だと思う理由（複数回答）	32
オ 国産材の利用を拡大することは重要ではないと思う理由（複数回答）	32
カ 国産材の利用を拡大するために必要な取組（複数回答）	32
キ 素材の調達	32
ク 原木の安定調達を図るために必要な取組（複数回答）	33
(3) 保有している森林面積について	
ア 保有している森林面積	33
イ 保有している森林の取扱予定	33
(4) 森林認証材の取扱いについて	
ア 森林認証材の取扱い	33
イ CoC認証の取得にあたり最も障害と思われること（複数回答）	33
(5) 木材の利用について	
ア 木材の利用を拡大するために必要と考える取組（複数回答）	34
イ 木材の利用を拡大するために必要と考える行政のサポート（複数回答）	34
(6) 単語・マークの認知度について	34

3 消費者モニター

(1) 森林の役割と森林づくりについて	
ア 森林に期待する役割（複数回答3つまで）	35
イ 国有林に期待する役割（複数回答3つまで）	35
(2) 森林の整備について	
ア 森林整備を進めるべき主体（複数回答）	35
イ 森林整備の費用負担のあり方（複数回答）	35
(3) 森林の利用について	
ア 森林づくりのボランティア活動への参加	36
イ 農山村滞在型の余暇生活への関心度	36
ウ 森林や農山村での過ごし方（複数回答）	36
(4) 木材の利用について	
ア 木造住宅の意向	36
イ 住宅を選ぶ時に価格以外で重視すること（複数回答）	37
ウ 都市部への木材利用（複数回答）	37
(5) 木質バイオマスの利活用方策（複数回答）	37
(6) 森林認証について	
ア 森林認証という言葉の意味やロゴマークの認知度（複数回答）	38
イ 森林認証の製品の購入	38
ウ 森林認証の製品を購入したいと思わない理由	38
(7) 単語・マークの認知度について	38

1 林業者モニター

(1) 保有している森林面積

区分	回答者数	保有していない	20ha未満	20ha以上 50ha未満	50ha以上 100ha未満	100ha以上 500ha未満	500ha以上 1,000ha未満	1,000ha 以上
計	123	0.8	15.4	30.1	26.0	26.0	0.8	0.8

(2) 森林の手入れについて

ア 森林の手入れ状況

(1)で「保有していない」以外を回答した者のみ回答)

区分	回答者数	十分に手入れをしていると思う	十分ではないものの、必要最小限の手入れはしていると思う	手入れはしているものの、必要最小限の手入れまではできていないと思う	ほとんど手入れをしていないと思う
計	122	13.9	47.5	33.6	4.9

イ 木材の生産目標

(アで「十分に手入れをしていると思う」又は「十分ではないものの、必要最小限の手入れはしていると思う」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	ほぼ全てを並材で生産することを目指す	並材を主体としつつ、高品質材や特殊材も生産することを目指す	高品質材や特殊材を生産することを主体としつつ、並材も生産することを目指す	ほぼ全てを高品質材や特殊材として生産することを目指す	その他	特にこだわらない
計	73	11.0	41.1	30.1	8.2	-	9.6

ウ 必要最小限の手入れまではできていない主な理由(複数回答)

(アで「手入れはしているものの、必要最小限の手入れまではできていないと思う」又は「ほとんど手入れをしていないと思う」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	手入れに要する費用を負担できないため	手入れをする労働力が不足しているため	高性能林業機械の導入や路網の整備が遅れているため	国や地方自治体による資金面や技術面での支援が不十分なため	森林に対して興味がないため	その他
計	47	74.5	76.6	27.7	46.8	4.3	4.3

エ 現在の林業経営の状況

区分	回答者数	毎年木材販売収入があり、主な収入は木材販売収入である	毎年木材販売収入があるが、主な収入は木材販売収入以外である	毎年の木材販売収入はないが、必要な間伐などの保育作業を実施している	毎年の木材販売収入はなく、保育作業も実施していない
計	123	11.4	31.7	44.7	12.2

1 林業者モニター（続き）

(2) 森林の手入れについて（続き）

オ 林業経営規模の意向

区分	回答者数	経営規模を拡大したい	経営規模を縮小したい	現状を維持したい	林業経営をやめたい
計	123人	14.6%	7.3%	71.5%	6.5%

カ 今後5年間の主伐に関する意向

（オで「経営規模を拡大したい」又は「経営規模を縮小したい」又は「現状を維持したい」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	自ら主伐をするつもりである	伐採業者（素材生産業者）や森林組合等に委託するなどして主伐をするつもりである	伐期に達した山林はあるが、主伐を実施する予定はない	伐期に達した山林がない
計	115人	12.2%	20.9%	60.0%	7.0%

キ 主伐後の更新に関する意向

（カで「自ら主伐をするつもりである」又は「伐採業者（素材生産業者）や森林組合等に委託するなどして主伐をするつもりである」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	主伐後は主に自ら再造林を行いたい	主伐後は主に森林組合等に委託して再造林を行いたい	主伐後は主に天然更新を行いたい
計	37人	21.6%	48.6%	29.7%

ク 主伐を実施しない理由（複数回答）

（カで「伐期に達した山林はあるが、主伐を実施する予定はない」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	主伐を行わず、間伐を繰り返す予定であるため	主伐の収入により主伐を行う費用を賄えないため	主伐の収入により主伐を行う費用は賄えるが、再造林する費用には満たないため	主伐を委託できる伐採業者（素材生産業者）や森林組合がないため	主伐を行うための路網整備が進んでいないため	その他
計	69人	58.0%	30.4%	47.8%	1.4%	21.7%	8.7%

ケ 路網整備の状況

（オで「経営規模を拡大したい」又は「経営規模を縮小したい」又は「現状を維持したい」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	100m/ha以上の路網密度である	50～100m/ha程度の路網密度である	30～50m/ha程度の路網密度である	0～30m/ha程度の路網密度である
計	113人	20.4%	22.1%	25.7%	31.9%

コ 路網整備の意向

(オで「経営規模を拡大したい」又は「経営規模を縮小したい」又は「現状を維持したい」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	100m/ha以上の路網密度を目指したい	50~100m/ha程度の路網密度を目指したい	30~50m/ha程度の路網密度を目指したい	新たな路網の整備に取り組むつもりはない	その他
計	人 114	% 34.2	% 21.9	% 9.6	% 25.4	% 8.8

サ 林業の機械化の意向 (複数回答2つまで)

(オで「経営規模を拡大したい」又は「経営規模を縮小したい」又は「現状を維持したい」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	多少高価でも大型で処理能力の高い車両系機械を導入したい	多少処理能力が低くても小型で安価な車両系機械を導入したい	架線系機械を導入したい	機械はなるべく持たず、伐採などは委託などにより対応したい	既に導入済みであり、新たな導入予定は無い	その他
計	人 115	% 3.5	% 32.2	% 12.2	% 48.7	% 12.2	% 11.3

シ 森林の境界の明確化が進まない理由 (複数回答)

区分	回答者数	境界を隣接する所有者がわからないから	境界を隣接する所有者の協力が得られないから	境界を明確化するのに費用がかかるから	境界を明確化する方法がわからないから	市町村等による地籍調査が進まないから	高齢のため現地の立会ができないから	相続等により森林は保有しているが、自分の山がどこかわからない人が多いから	効率的に境界を明確化するための地域組織等がないから	その他
計	人 121	% 36.4	% 20.7	% 38.8	% 9.1	% 45.5	% 39.7	% 64.5	% 29.8	% 19.8

ス 森林経営計画の作成を進めるために必要な取組・支援 (複数回答)

区分	回答者数	森林経営計画の作成を支援する人材の育成	森林経営計画に関する森林所有者への説明会等の開催などの周知・啓発	森林等の情報(樹種、材積、図面、周辺の所有者等)の林業事業者への提供	経営を安心して委託できる林業事業者の森林所有者への紹介	経営委託に関する具体的な費用等の情報提供	計画の作成に要する所有者や境界の確定、合意形成等の経費への支援の拡充	森林経営計画の作成された森林に対する補助金や税制優遇の拡充	その他
計	人 120	% 44.2	% 58.3	% 28.3	% 33.3	% 40.8	% 52.5	% 67.5	% 5.8

セ 伐採業者や森林組合などに期待する役割 (複数回答)

区分	回答者数	植付や間伐等の個々の作業を引き受けること	長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること	森林にかかり計画策定から管理経営までを引き受けること	森林所有者と共同で森林経営計画を作成すること	計画の作成や作業に係る技術的助言又は情報提供を行うこと	森林の売渡しや貸付などの情報を発信すること	森林の管理だけでなく、森林の土地の所有権を含めて引き受けること	その他	特に期待する役割はない
計	人 119	% 48.7	% 42.9	% 42.0	% 53.8	% 40.3	% 23.5	% 16.0	% 4.2	% 4.2

1 林業者モニター（続き）

(3) 国産材の利用について（複数回答）

区分	回答者数	複数の森林所有者等が共同で森林経営計画を作成すること	素材生産業者や森林組合を育成すること	安定供給に取り組む素材生産業者や森林組合に生産を委託すること	森林所有者や素材生産業者等と製材工場等が原木供給の協定を締結すること	素材生産業者や製材工場等が森林の所有を拡大すること	その他
計	120人	38.3%	53.3%	51.7%	33.3%	7.5%	17.5%

(4) 森林認証について

ア 森林認証取得の取組

区分	回答者数	森林認証を既に取得している	森林認証を取得したいと思う	森林認証を取得したいと思わない	分からない
計	122人	10.7%	29.5%	26.2%	33.6%

イ 森林認証取得にあたり最も障害と思われること（複数回答）

区分	回答者数	森林の所有規模が小さく、取得しても十分に活用できないこと	取得時及びその後の維持に費用がかかること	取得する際の審査が手間であること	CoC認証を取得している製造・加工・流通業者が少ないこと	森林認証材が十分に評価されていないこと	その他	特になし	分からない
計	120人	46.7%	32.5%	21.7%	21.7%	49.2%	9.2%	6.7%	17.5%

(5) 単語・マークの認知度について

区分	木づかい運動				木育（もくいく）			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	104人	39.4%	14.4%	46.2%	106人	37.7%	21.7%	40.6%

区分	木づかいサイクルマーク				間伐材使用マーク			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	102人	17.6%	15.7%	66.7%	105人	41.9%	9.5%	48.6%

区分	合法木材推進マーク			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	104人	26.9%	13.5%	59.6%

2 流通加工業者モニター

(1) 経営又は所属する会社等の主な業種

区分	回答者数	素材の生産	製材の生産	集成材の製造	合板の製造	チップの製造	パーティクルボードなどの製造	木材の圧縮、防腐処理	素材の販売	製品の販売	その他
計	人 153	% 10.5	% 45.1	% 2.0	% 0.7	% 2.6	% -	% 1.3	% 6.5	% 22.9	% 8.5

(2) 国産材の利用について

ア 国産材の使用状況

((1)で「製材の生産」、「集成材の製造」、「合板の製造」、「チップの製造」、「パーティクルボードなどの製造」、「木材の圧縮、防腐処理」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	国産材のみ使用している	半分以上は国産材である	国産材は半分未満である	国産材は使用していない
計	人 79	% 72.2	% 17.7	% 7.6	% 2.5

イ 製品・商品を取り扱う上での問題点 (複数回答)

区分	回答者数	住宅着工戸数の減少等により木材全体の需要が減少していること	販売価格が低いこと	生産・流通コストが増大していること	原材料が安定的に確保できないこと	その他	特に問題はない
計	人 152	% 77.6	% 72.4	% 35.5	% 36.8	% 7.2	% 1.3

ウ 製品・商品の原材料としての国産材の利用拡大

区分	回答者数	国産材の利用を拡大することは重要であると思う	国産材の利用を拡大することは重要ではないと思う
計	人 153	% 96.7	% 3.3

2 流通加工業者モニター（続き）

(2) 国産材の利用について（続き）

エ 国産材の利用を拡大することは重要だと思う理由（複数回答）

（ウで「国産材の利用を拡大することは重要であると思う」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	消費者の国産材製品へのニーズが高まっているから	国産材は為替の影響を受けやすく安定的に調達できるから	林業や地域経済の活性化に貢献できるから	森林の適切な整備・保全が行われることになり、国土の保全や水源涵養など森林の多面的機能が持続的に発揮されるから	その他
計	人 148	% 32.4	% 29.7	% 89.2	% 81.1	% 4.1

オ 国産材の利用を拡大することは重要ではないと思う理由（複数回答）

（ウで「国産材の利用を拡大することは重要ではないと思う」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	消費者が国産材にこだわっていないから	外国産材は安定的に調達できるから	外国産材の方が安く調達できるから	外国産材の方が加工しやすいから	外国産材の方が色調など多様なものを調達できるから	その他
計	人 5	% 60.0	% 40.0	% 60.0	% 40.0	% 40.0	% 60.0

カ 国産材の利用を拡大するために必要な取組（複数回答）

（ウで「国産材の利用を拡大することは重要であると思う」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	品質・性能の確かな製品の供給	国産材の特色、良さのアピール	技術の開発や普及啓発	加工・流通の合理化・低コスト化	素材生産業者と連携することによる木材製品の安定的な供給	その他
計	人 144	% 61.1	% 70.8	% 39.6	% 48.6	% 59.0	% 11.8

キ 素材の調達

区分	回答者数	ほぼ全て並材を調達したい	並材を主体的に調達しつつ、高品質材や特殊材も調達したい	高品質材や特殊材を主体的に調達しつつ、並材も調達したい	ほぼ全て高品質材や特殊材を調達したい	その他	特にこだわらない
計	人 152	% 13.8	% 57.9	% 10.5	% 5.3	% 3.9	% 8.6

ク 原木の安定調達を図るために必要な取組（複数回答）

区分	回答者数	素材生産業者や森林組合が素材生産能力を増強すること	流通加工業者が森林所有者や素材生産業者等と原木供給の協定を締結すること	流通加工業者が自社保有森林面積を増加させること	素材生産業者等や流通加工業者がストックヤードを整備すること	素材生産業者等や流通加工業者が需給に関する情報を共有し、調整する仕組みがあること	その他
計	152人	67.8%	30.3%	5.3%	27.6%	50.7%	12.5%

(3) 保有している森林面積について

ア 保有している森林面積

区分	回答者数	保有していない	20ha未満	20ha以上50ha未満	50ha以上100ha未満	100ha以上500ha未満	500ha以上1,000ha未満	1,000ha以上
計	153人	52.9%	28.1%	7.8%	2.6%	5.9%	1.3%	1.3%

イ 保有している森林の取扱予定

（アで「保有していない」以外を回答した者のみ回答）

区分	回答者数	自家消費等のため、計画的に伐採・再造林する	原木需要が逼迫した場合などに、臨時的に伐採する	特に伐採するつもりはない	その他
計	70人	21.4%	25.7%	44.3%	8.6%

(4) 森林認証材の取扱いについて

ア 森林認証材の取扱い

区分	回答者数	森林認証材を既に取り扱っている	森林認証材を取り扱いたいと思う	森林認証材を取り扱いたくない	分からない
計	151人	30.5%	21.2%	13.9%	34.4%

イ CoC認証の取得にあたり最も障害と思われること（複数回答）

区分	回答者数	取得しても十分に活用できないこと	取得時及びその後の維持に費用がかかること	取得する際の審査が手間であること	取得の要件を満たす体制が整わないこと	十分な量の森林認証材が確保できないこと	森林認証材が十分に評価されていないこと	その他	特になし	分からない
計	152人	52.6%	37.5%	28.9%	25.0%	22.4%	42.8%	3.3%	6.6%	17.1%

2 流通加工業者モニター（続き）

(5) 木材の利用について

ア 木材の利用を拡大するために必要と考える取組（複数回答）

区分	回答者数	新たなアイデアや加工技術の活用等により魅力的な木材製品を開発すること	香り、手触り、見た目など木の特性をアピールすること	品質（耐久性、強度など）を明示し、安全性や安心感を向上させること	木材の産地など、原料についての製品情報をきちんと表示すること	間伐や伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材（森林認証材など）を使用したり、それをアピールしたりすること	環境に貢献する商品（販売価格に植林や間伐に係る寄付金を上乗せするなど）を増やすこと	地球温暖化対策や地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールすること	製品価格を安くすること	木材製品を安定的に供給できる体制を整備すること	その他
計	人 148	% 57.4	% 45.3	% 54.7	% 36.5	% 34.5	% 28.4	% 56.1	% 10.8	% 56.8	% 2.7

イ 木材の利用を拡大するために必要と考える行政のサポート（複数回答）

区分	回答者数	買い手（木材需要）と売り手（原木供給）をマッチングする場を提供すること	行政における木材の積極的な利用（公共建築物など）を促進すること	新製品開発に対する経済的・技術的な支援	産地等の原料について信頼性のある表示ができる仕組み	マーケティングに関するアドバイス	広報活動・普及啓発活動	海外における日本産木材・木材製品のPR活動等に関する支援	その他
計	人 149	% 34.2	% 82.6	% 44.3	% 24.2	% 25.5	% 53.0	% 22.1	% 9.4

(6) 単語・マークの認知度について

区分	木づかい運動				木育（もくいく）			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	人 144	% 45.1	% 27.8	% 27.1	人 143	% 50.3	% 28.0	% 21.7

区分	木づかいサイクルマーク				間伐材使用マーク			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	人 143	% 21.0	% 23.1	% 55.9	人 144	% 49.3	% 18.1	% 32.6

区分	合法木材推進マーク			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	人 145	% 72.4	% 8.3	% 19.3

3 消費者モニター

(1) 森林の役割と森林づくりについて

ア 森林に期待する役割（複数回答3つまで）

区分	回答者数	住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き	きのこや山菜などの林産物を生産する働き	水資源を蓄える働き	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	空気をきれいにしたり、騒音をやわらげる働き	二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	心身の癒しや安らぎの場を提供する働き	自然に親しみ、森林と人のかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	貴重な野生動物の生息の場としての働き	その他
計	人 897	% 36.0	% 12.9	% 47.6	% 59.3	% 16.5	% 52.1	% 17.3	% 19.5	% 31.3	% 1.3

区分	特にない	分からない
計	% 0.3	% 0.4

イ 国有林に期待する役割（複数回答3つまで）

区分	回答者数	住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き	きのこや山菜などの林産物を生産する働き	水資源を蓄える働き	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	空気をきれいにしたり、騒音をやわらげる働き	二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き	心身の癒しや安らぎの場を提供する働き	自然に親しみ、森林と人のかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	貴重な野生動物の生息の場としての働き	その他
計	人 894	% 27.5	% 9.1	% 48.8	% 62.6	% 16.8	% 48.3	% 14.3	% 26.5	% 35.5	% 1.0

区分	特にない	分からない
計	% 0.3	% 0.7

(2) 森林の整備について

ア 森林整備を進めるべき主体（複数回答）

区分	回答者数	森林所有者自らの取り組みを主体に森林の整備を進める	国や地方公共団体が主体となって森林の整備を進める	森林組合などの林業事業者が所有者の委託を受けて森林の整備を進める	広く情報を提供して国民の幅広い参加や協力により、森林の整備を進める	現状のままです、できる範囲のことでよい	その他	分からない
計	人 893	% 34.4	% 82.4	% 66.7	% 54.5	% 2.7	% 2.0	% 1.3

イ 森林整備の費用負担のあり方（複数回答）

区分	回答者数	森林の所有者が自ら負担する	森林は二酸化炭素を吸収していることから、二酸化炭素を排出する割合に応じて企業や国民が負担する	森林の恩恵は広く国民全体に及ぶことから、国民全体で負担する	国産材製品の購入を増やすことにより、国民全体で間接的に負担する	緑の募金などの自発的な拠出により負担する	ボランティアなどの自発的な森林整備活動により負担する	新たな負担を求めず、できる範囲のことでよい	その他	分からない
計	人 898	% 27.2	% 48.0	% 49.6	% 51.1	% 38.2	% 25.1	% 8.7	% 3.9	% 1.9

3 消費者モニター（続き）

(3) 森林の利用について

ア 森林づくりのボランティア活動への参加

区分	回答者数	参加したい	どちらかといえは参加したい	どちらかといえは参加したくない	参加したくない	分からない
計	人 893	% 14.2	% 44.6	% 21.9	% 8.6	% 10.6

イ 農山村滞在型の余暇生活への関心度

区分	回答者数	是非過ごしてみたいと思う	機会があれば過ごしてみたいと思う	あまり過ごしてみたいとは思わない	全く過ごしてみたいとは思わない	分からない
計	人 896	% 22.0	% 57.8	% 13.5	% 4.2	% 2.5

ウ 森林や農山村での過ごし方（複数回答）

（イで「是非過ごしてみたいと思う」又は「機会があれば過ごしてみたいと思う」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	森や湖、農山村の家並みなど魅力的な景観を楽しむ	野鳥観察や溪流釣りなど自然とのふれあい体験をする	森林浴により気分転換する	療養などを目的にのんびり過ごす	森林の手入れをする体験や、木の实や葉を使った工作、木工などの体験をする	きのこ狩りや山菜採り	和紙づくり、郷土食など地域の伝統的な文化を体験する	子どもを自然が体験できる行事に参加させる	史跡・名勝を訪ねたり、特産品を購入する
計	人 713	% 57.9	% 54.4	% 66.9	% 32.3	% 39.0	% 47.0	% 35.3	% 38.8	% 36.6

区分	その他	分からない
計	% 3.2	% 0.1

(4) 木材の利用について

ア 木造住宅の意向

区分	回答者数	木造住宅（昔から日本にある在来工法のもの）	木造住宅（ツーバイフォー工法など、在来工法以外のもの）	非木造住宅（鉄筋、鉄骨、コンクリート造りのもの）	分からない
計	人 894	% 51.9	% 22.8	% 11.1	% 14.2

イ 住宅を選ぶ時に価格以外で重視すること（複数回答）

区 分	回答者数	品質や性能が良く、耐久性に優れていること	健康に配慮した材料が用いられていること	設計の自由度が高いこと	リサイクルしやすいなど環境に配慮した製品が用いられていること	欲しいときにすぐに購入できること	内装等で木質部分が多くあること	木質部分に用いられている木材の種類や産地、費用が明らかであること	木質部分に植林や手入れが適切に行われている森林から生産された木材が用いられていること	木質部分に国産材が用いられていること
計	人 899	% 84.2	% 74.0	% 34.8	% 25.1	% 5.8	% 36.7	% 29.8	% 21.4	% 35.9
うち、木造住宅の意向別										
木造住宅 (在来工法)	464	84.9	77.6	32.5	28.9	5.6	45.5	35.8	27.6	45.0
木造住宅 (在来工法以外)	204	89.2	77.5	42.2	23.5	6.9	29.9	25.0	15.7	35.3
非木造住宅	99	78.8	59.6	31.3	14.1	8.1	24.2	20.2	11.1	19.2
分からない	126	78.6	66.7	34.1	22.2	3.2	24.6	23.0	15.1	17.5

区 分	その他	分からない
計	% 2.7	% 1.2
うち、木造住宅の意向別		
木造住宅 (在来工法)	2.2	0.4
木造住宅 (在来工法以外)	1.0	0.5
非木造住宅	5.1	-
分からない	5.6	5.6

注： 木造住宅の意向別は、「ア 木造住宅の意向」の各回答別の結果である。
また、計（回答者数）には、「ア 木造住宅の意向」の無回答者で本問に回答している者を含んでいるため、計と内訳は一致しない。

ウ 都市部への木材利用（複数回答）

区 分	回答者数	学校や図書館などの公共施設	ホテルなどの宿泊施設	ショッピングモールなどの大型商業施設	銀行や郵便局	映画館などの娯楽施設	駅やバスターミナルなどの旅客施設	木材を特に利用する必要はない	その他	分からない
計	人 898	% 88.2	% 39.0	% 22.5	% 27.3	% 11.6	% 51.7	% 2.9	% 3.5	% 2.3

(5) 木質バイオマスの利活用方策（複数回答）

区 分	回答者数	燃やして発電する、又はボイラーで熱を利用するなどのエネルギー源としての利活用の推進	紙や木質ボードの原料としての利活用の推進	細かくして堆肥(たいひ)や家畜の飼育舎に敷く材料としての利活用の推進	その他	特に利活用する必要はない	分からない
計	人 899	% 74.1	% 71.1	% 65.6	% 3.2	% -	% 3.7

3 消費者モニター（続き）

(6) 森林認証について

ア 森林認証という言葉の意味やロゴマークの認知度（複数回答）

区分	回答者数	「森林認証」の意味を知っている	「森林認証」という言葉を知っている	ロゴマークを見たことがある	「森林認証」の言葉を知らないし、ロゴマークも見なかったことがない
計	人 900	% 6.2	% 13.9	% 22.6	% 66.9

イ 森林認証の製品の購入

区分	回答者数	積極的に購入したいと思う	製品の種類、価格によっては購入したいと思う	購入したいとは思わない
計	人 898	% 11.9	% 81.6	% 6.5

ウ 森林認証の製品を購入したいと思わない理由

（イで「購入したいと思わない」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	仕組みがあまり分からないから	価格が高そうだから	製品の種類が少ないと思うから	簡単に入手できないと思うから	わざわざ選択して購入する必要性を感じないから	その他
計	人 58	% 36.2	% 27.6	% 3.4	% 3.4	% 27.6	% 1.7

(7) 単語・マークの認知度について

区分	木づかい運動				木育（もくいく）			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	人 887	% 11.4	% 15.6	% 73.1	人 891	% 20.2	% 21.8	% 58.0

区分	木づかいサイクルマーク				間伐材使用マーク			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	人 889	% 5.8	% 12.5	% 81.7	人 890	% 13.9	% 15.8	% 70.2

区分	合法木材推進マーク			
	回答者数	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった	見聞きしたことがない
計	人 892	% 2.8	% 8.6	% 88.6

【調査事項】

＜林業者モニター用＞

問1 全員の方にお聞きします。

あなたが保有している森林の面積^{*}を教えてください。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

※「保有している森林の面積（保有面積）」とは、所有面積から貸付面積を差し引いた後、借入面積を加えた面積です。

- 1 保有していない
- 2 20ha未満
- 3 20ha以上 50ha未満
- 4 50ha以上 100ha未満
- 5 100ha以上 500ha未満
- 6 500ha以上 1,000ha未満
- 7 1,000ha以上

【森林の手入れについて】

問2 問1で「2」～「7」を選択した方にお聞きします。

保有している森林の手入れについては、どのような状況ですか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 十分に手入れをしていると思う
- 2 十分ではないものの、必要最小限の手入れはしていると思う
- 3 手入れはしているものの、必要最小限の手入れまではできていないと思う
- 4 ほとんど手入れをしていないと思う

問3 問2で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。

木材の生産活動でどのような木材を生産したいですか。

あなたの考えに最も近いものを選択肢より1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 ほぼ全てを並材で生産することを目指したい
- 2 並材を主体としつつ、高品質材や特殊材も生産することを目指したい

- 3 高品質材や特殊材を生産することを主体としつつ、並材も生産することを目指したい
- 4 ほぼ全てを高品質材や特殊材として生産することを目指したい
- 5 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 6 特にこだわらない

問4 問2で「3」又は「4」を選択した方にお聞きします。

必要最小限の手入れまではできていない主な理由は何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 手入れに要する費用を負担できないため
- 2 手入れをする労働力が不足しているため
- 3 高性能林業機械の導入や路網の整備が遅れているため
- 4 国や地方自治体による資金面や技術面での支援が不十分なため
- 5 森林に対して興味がないため
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問5 全員の方にお聞きします。

現在の林業経営はどのような状況にありますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 毎年木材販売収入があり、主な収入は木材販売収入である
- 2 毎年木材販売収入があるが、主な収入は木材販売収入以外である
- 3 毎年の木材販売収入はないが、必要な間伐などの保育作業を実施している
- 4 毎年の木材販売収入はなく、保育作業も実施していない

問6 全員の方にお聞きします。

今後、森林の保有面積、雇用人数、機械台数等の経営規模（受託を含む）をどうしていきたいと思いませんか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 経営規模を拡大したい
- 2 経営規模を縮小したい
- 3 現状を維持したい
- 4 林業経営をやめたい

問7 問6で「1」～「3」を選択した方にお聞きします。

保有している山林において、今後5年間に主伐を実施する予定はありますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 自ら主伐をするつもりである
- 2 伐採業者（素材生産業者）や森林組合等に委託するなどして主伐をするつもりである
- 3 伐期に達した山林はあるが、主伐を実施する予定はない
- 4 伐期に達した山林がない

問8 問7で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。

主伐後の更新は主にどのようにしたいと考えていますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 主伐後は主に自ら再造林を行いたい
- 2 主伐後は主に森林組合等に委託して再造林を行いたい
- 3 主伐後は主に天然更新を行いたい

問9 問7で「3」を選択した方にお聞きします。

伐期に達した山林はあるが、主伐を実施しない理由は何ですか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 主伐を行わず、間伐を繰り返す予定であるため
- 2 主伐の収入により主伐を行う費用を賄えないため
- 3 主伐の収入により主伐を行う費用は賄えるが、再造林する費用には満たないため
- 4 主伐を委託できる伐採業者（素材生産業者）や森林組合がないため
- 5 主伐を行うための路網整備が進んでいないため
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問10 問6で「1」～「3」を選択した方にお聞きします。

路網の整備について、現在の密度はどの程度ですか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 100m/ha以上の路網密度である
- 2 50～100m/ha程度の路網密度である
- 3 30～50m/ha程度の路網密度である
- 4 0～30m/ha程度の路網密度である

問11 問6で「1」～「3」を選択した方にお聞きします。
 路網の整備について、今後どの程度の密度を目指したいですか。
 該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 100m/ha以上の路網密度を目指したい
- 2 50～100m/ha程度の路網密度を目指したい
- 3 30～50m/ha程度の路網密度を目指したい
- 4 新たな路網の整備に取り組むつもりはない
- 5 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問12 問6で「1」～「3」を選択した方にお聞きします。
 林業の機械化について、今後どのような機械を導入（リース、レンタルを含む）
 したいですか。
 該当する選択肢を2つまで選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

（注）車両系高性能林業機械（建設機械がベースマシンのもの（プロセッサ、ハーベスタなど）
 及びフォワーダ）のサイズ区分については、下表を参考にしてください。

＜車両系高性能林業機械のサイズ＞

区 分	建設機械がベースマシンのもの (プロセッサ、ハーベスタなど) の場合				フォワーダの場合
	バケット	重 量	車 幅	全 長	最大積載量
大型	0.45	12～13t	2.5m	7～8m	2t超
小型	0.25	6～7t	2.2m	6m	2t以下

- 1 多少高価でも大型で処理能力の高い車両系機械を導入したい
- 2 多少処理能力が低くても小型で安価な車両系機械を導入したい
- 3 架線系機械を導入したい
- 4 機械はなるべく持たず、伐採などは委託などにより対応したい
- 5 既に導入済みであり、新たな導入予定は無い
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問13 全員の方にお聞きします。
 現在、森林の境界の明確化が進まない状況にありますが、その理由は何だと思いま
 すか。
 該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 境界を隣接する所有者がわからないから

- 2 境界を隣接する所有者の協力が得られないから
- 3 境界を明確化するのに費用がかかるから
- 4 境界を明確化する方法がわからないから
- 5 市町村等による地籍調査が進まないから
- 6 高齢のため現地の立会ができないから
- 7 相続等により森林は保有しているが、自分の山がどこかわからない人が多いから
- 8 効率的に境界を明確化するための地域組織等がないから
- 9 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問14 全員の方にお聞きします。

森林施業の集約化を進めるため、面的なまとまりをもった森林を対象とする「森林経営計画」について、森林所有者自ら又は林業事業者等への委託により作成を進めるためにはどのような取組・支援が必要だと思いますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 森林経営計画の作成を支援する人材の育成
- 2 森林経営計画に関する森林所有者への説明会等の開催などの周知・啓発
- 3 森林等の情報（樹種、材積、図面、周辺の所有者等）の林業事業者への提供
- 4 経営を安心して委託できる林業事業者の森林所有者への紹介
- 5 経営委託に関する具体的な費用等の情報提供
- 6 計画の作成に要する所有者や境界の確定、合意形成等の経費への支援の拡充
- 7 森林経営計画の作成された森林に対する補助金や税制優遇の拡充
- 8 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問15 全員の方にお聞きします。

伐採業者（素材生産業者）や森林組合などにどのような役割を期待しますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 植付や間伐等の個々の作業を引き受けること
- 2 長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること
- 3 森林にかかる計画策定から管理経営までを引き受けること
- 4 森林所有者と共同で森林経営計画を作成すること
- 5 計画の作成や作業に係る技術的助言又は情報提供を行うこと
- 6 森林の売渡しや貸付などの情報を発信すること
- 7 森林の管理経営だけでなく、森林の土地の所有権を含めて引き受けること
- 8 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 9 特に期待する役割はない

【国産材の利用について】

問16 全員の方にお聞きします。

木材需要に応じた原木の安定供給のためには、どのような取組が効果的だと思いますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 複数の森林所有者等が共同で森林経営計画を作成すること
- 2 素材生産業者や森林組合を育成すること
- 3 安定供給に取り組む素材生産業者や森林組合に生産を委託すること
- 4 森林所有者や素材生産業者等と製材工場等が原木供給の協定を締結すること
- 5 素材生産業者や製材工場等が森林の所有を拡大すること
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

【森林認証について】

問17 全員の方にお聞きします。

森林認証の取得に取り組みたいと思いますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 森林認証を既に取得している
- 2 森林認証を取得したいと思う
- 3 森林認証を取得したいと思わない
- 4 分からない

問18 全員の方にお聞きします。

森林認証の取得にあたり、最も障害と思われることは何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 森林の所有規模が小さく、取得しても十分に活用できないこと
- 2 取得時及びその後の維持に費用がかかること
- 3 取得する際の審査が手間であること
- 4 CoC認証を取得している製造・加工・流通業者が少ないこと
- 5 森林認証材が十分に評価されていないこと
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 7 特にない
- 8 分からない

【単語・マークについて】

問19 全員の方にお聞きします。

以下の①～⑤の単語・マークについて、これまでに知っているものはありますか。

①～⑤のそれぞれについて、該当する選択肢の番号を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

<単語・マーク>

① 木づかい運動	
② 木育（もくいく）	
③ 木づかいサイクルマーク	
④ 間伐材使用マーク	
⑤ 合法木材推進マーク	

- 1 以前から意味を知っていた
- 2 意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった
- 3 見聞きしたことがない

(参考)

単語・マーク	説明
① 木づかい運動	地域材利用（各地域の木材を積極的に利用すること）の意義を広め、実需の拡大につなげていくための国民運動。
② 木育（もくいく）	市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動のこと。
③ 木づかいサイクルマーク	木づかい運動のロゴマーク。
④ 間伐材使用マーク	間伐や間伐材利用の重要性等をPRする、間伐材を用いた製品に表示するマーク。
⑤ 合法木材推進マーク	違法伐採問題に対する取り組みと合法性が証明された木材・木材製品の証明システム普及啓発のためのシンボルマーク。

<流通加工業者モニター用>

【基本項目】

問1 全員の方にお聞きします。

あなたの主な業種は何ですか。

選択肢のうち近い業種の番号を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 素材の生産
- 2 製材の生産
- 3 集成材の製造
- 4 合板の製造
- 5 チップの製造
- 6 パーティクルボードなどの製造
- 7 木材の圧縮、防腐処理
- 8 素材の販売
- 9 製品の販売
- 10 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

【国産材の利用について】

問2 問1で「2」～「7」を選択した方にお聞きします。

国産材をどのくらい使用していますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 国産材のみ使用している
- 2 半分以上は国産材である
- 3 国産材は半分未満である
- 4 国産材は使用していない

問3 全員の方にお聞きします。

製品、商品を取り扱う際の主な問題は何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 住宅着工戸数の減少等により木材全体の需要が減少していること
- 2 販売価格が低いこと
- 3 生産・流通コストが増大していること

- 4 原材料が安定的に確保できないこと
- 5 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 6 特に問題はない

問4 全員の方にお聞きします。

製品、商品の原材料として国産材の利用を拡大することについてどう思いますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 国産材の利用を拡大することは重要であると思う
- 2 国産材の利用を拡大することは重要ではないと思う

問5 問4で「1」を選択した方にお聞きします。

国産材の利用を拡大することが重要だと思う理由は何ですか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 消費者の国産材製品へのニーズが高まってきているから
- 2 国産材は為替の影響を受けることなく安定的に調達できるから
- 3 林業や地域経済の活性化に貢献できるから
- 4 森林の適切な整備・保全が行われることにつながり、国土の保全や水源涵養など森林の多面的機能が持続的に発揮されるから
- 5 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問6 問4で「2」を選択した方にお聞きします。

国産材の利用を拡大することが重要ではないと思う理由は何ですか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 消費者が国産材にこだわっていないから
- 2 外国産材は安定的に調達できるから
- 3 外国産材の方が安く調達できるから
- 4 外国産材の方が加工しやすいから
- 5 外国産材の方が色調など多様なものを調達できるから
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問7 問4で「1」を選択した方にお聞きします。

国産材の利用を拡大するためにどのような取組が必要だと思いますか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 品質・性能の確かな製品の供給
- 2 国産材の特色、良さのアピール
- 3 技術の開発や普及啓発
- 4 加工・流通の合理化・低コスト化
- 5 素材生産業者と連携することによる木材製品の安定的な供給
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問8 全員の方にお聞きします。

どのような素材を調達したいと思いますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 ほぼ全て並材を調達したい
- 2 並材を主体的に調達しつつ、高品質材や特殊材も調達したい
- 3 高品質材や特殊材を主体的に調達しつつ、並材も調達したい
- 4 ほぼ全て高品質材や特殊材を調達したい
- 5 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 6 特にこだわらない

問9 全員の方にお聞きします。

原木の安定調達を図るためにはどのような取組が必要だと思いますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 素材生産業者や森林組合が素材生産能力を増強すること
- 2 流通加工業者が森林所有者や素材生産業者等と原木供給の協定を締結すること
- 3 流通加工業者が自社保有森林面積を増加させること
- 4 素材生産業者等や流通加工業者がストックヤードを整備すること
- 5 素材生産業者等や流通加工業者が需給に関する情報を共有し、調整する仕組みがあること
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

【保有している森林面積について】

問10 全員の方にお聞きします。

あなたが保有している森林の面積^{*}を教えてください。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

※「保有している森林の面積（保有面積）」とは、所有面積から貸付面積を差し引いた後、借入面積を加えた面積です。

- 1 保有していない
- 2 20ha未満
- 3 20ha以上 50ha未満
- 4 50ha以上 100ha未満
- 5 100ha以上 500ha未満
- 6 500ha以上 1,000ha未満
- 7 1,000ha以上

問11 問10で「2」～「7」を選択した方にお聞きします。
保有している森林をどのように取り扱っていく予定ですか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 自家消費等のため、計画的に伐採・再造林する
- 2 原木需要がひっ迫した場合などに、臨時的に伐採する
- 3 特に伐採するつもりはない
- 4 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

【森林認証材の取扱いについて】

問12 全員の方にお聞きします。
森林認証材を取り扱いたいと思いますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 森林認証材を既に取り扱っている
- 2 森林認証材を取り扱いたいと思う
- 3 森林認証材を取り扱いたいと思わない
- 4 分からない

問13 全員の方にお聞きします。
森林認証材を取り扱う際に必要となるCoC認証の取得にあたり、最も障害と思われることは何ですか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 取得しても十分に活用できないこと
- 2 取得時及びその後の維持に費用がかかること
- 3 取得する際の審査が手間であること
- 4 取得の要件を満たす体制が整わないこと
- 5 十分な量の森林認証材が確保できないこと
- 6 森林認証材が十分に評価されていないこと
- 7 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 8 特になし
- 9 分からない

【木材の利用について】

問14 全員の方にお聞きします。

木材の利用を拡大するためには、流通加工業者としてどのような取組が必要だと思えますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 新たなアイデアや加工技術の活用等により魅力的な木材製品を開発すること
- 2 香り、手触り、見た目など木の特性をアピールすること
- 3 品質（耐久性、強度など）を明示し、安全性や安心感を向上させること
- 4 木材の産地など、原料についての製品情報をきちんと表示すること
- 5 間伐や伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材（森林認証材など）を使用したり、それをアピールしたりすること
- 6 環境に貢献する商品（販売価格に植林や間伐に係る寄付金を上乗せするなど）を増やすこと
- 7 地球温暖化対策や地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールすること
- 8 製品価格を安くすること
- 9 木材製品を安定的に供給できる体制を整備すること
- 10 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

問15 全員の方にお聞きします。

木材の利用を拡大するためには、どのような行政のサポートが必要だと思えますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 買い手（木材需要）と売り手（原木供給）をマッチングする場を提供すること
- 2 行政における木材の積極的な利用（公共建築物など）を促進すること
- 3 新製品開発に対する経済的・技術的な支援
- 4 産地等の原料について信頼性のある表示ができる仕組み

- 5 マーケティングに関するアドバイス
- 6 広報活動・普及啓発活動
- 7 海外における日本産木材・木材製品のPR活動等に関する支援
- 8 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

【単語・マークについて】

問16 全員の方にお聞きします。

以下の①～⑤の単語・マークについて、これまでに知っているものはありますか。

①～⑤のそれぞれについて、該当する選択肢の番号を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

<単語・マーク>

① 木づかい運動	
② 木育（もくいく）	
③ 木づかいサイクルマーク	
④ 間伐材使用マーク	
⑤ 合法木材推進マーク	

- 1 以前から意味を知っていた
- 2 意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった
- 3 見聞きしたことがない

<消費者モニター用>

【森林の役割と森林づくりについて】

問1 全員の方にお聞きします。

あなたは、今後、森林のどのような働きを期待しますか。

該当する選択肢を3つまで選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き
- 2 きのこと山菜などの林産物を生産する働き
- 3 水資源を蓄える働き
- 4 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- 5 空気をきれいにしたり、騒音をやわらげる働き
- 6 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き
- 7 心身の癒しや安らぎの場を提供する働き
- 8 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き
- 9 貴重な野生動植物の生息の場としての働き
- 10 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 11 特にない
- 12 分からない

問2 全員の方にお聞きします。

我が国の森林の3割は国が管理する国有林です。今後、国有林にどのような働きを期待しますか。

該当する選択肢を3つまで選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 住宅用建材や家具、紙などの原材料となる木材を生産する働き
- 2 きのこと山菜などの林産物を生産する働き
- 3 水資源を蓄える働き
- 4 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
- 5 空気をきれいにしたり、騒音をやわらげる働き
- 6 二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き
- 7 心身の癒しや安らぎの場を提供する働き
- 8 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き
- 9 貴重な野生動植物の生息の場としての働き
- 10 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 11 特にない
- 12 分からない

【森林の整備について】

問3 全員の方にお聞きします。

今後、問1及び問2の選択肢に挙げたような森林の働きを持続的に発揮させていく上で、誰が主体となって積極的に森林の整備を進めるべきだと思いますか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 森林所有者自らの取り組みを主体に森林の整備を進める
- 2 国や地方公共団体が主体となって森林の整備を進める
- 3 森林組合などの林業事業体が所有者の委託を受けて森林の整備を進める
- 4 広く情報を提供して国民の幅広い参加や協力により、森林の整備を進める
- 5 現状のままで、できる範囲のことをすればよい
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 7 分からない

問4 全員の方にお聞きします。

今後、森林整備を推進していくために必要となる費用に対する負担は、どうあるべきだと思いますか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 森林の所有者が自ら負担する
- 2 森林は二酸化炭素を吸収していることから、二酸化炭素を排出する割合に応じて企業や国民が負担する
- 3 森林の恩恵は広く国民全体に及ぶことから、国民全体で負担する
- 4 国産材製品の購入を増やすことにより、国民全体で間接的に負担する
- 5 緑の募金などの自発的な拠出により負担する
- 6 ボランティアなどの自発的な森林整備活動により負担する
- 7 新たな負担を求めずに、できる範囲のことをすればよい
- 8 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 9 分からない

【森林の利用について】

問5 全員の方にお聞きします。

次代に森林を残すため、下草刈や間伐などの森林づくりのボランティア活動に参加したいと思いますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 参加したい
- 2 どちらかといえば参加したい
- 3 どちらかといえば参加したくない
- 4 参加したくない
- 5 分からない

問6 全員の方にお聞きします。

一定期間、緑豊かな農山村に滞在し、休暇を過ごしてみたいと思いますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 是非過ごしてみたいと思う
- 2 機会があれば過ごしてみたいと思う
- 3 あまり過ごしてみたいとは思わない
- 4 全く過ごしてみたいとは思わない
- 5 分からない

問7 問6で「1」又は「2」を選択した方にお聞きします。

森林や農山村では、どのようなことをして過ごしてみたいと思いますか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 森や湖、農山村の家並みなど魅力的な景観を楽しむ
- 2 野鳥観察や溪流釣りなど自然とのふれあい体験をする
- 3 森林浴により気分転換する
- 4 療養などを目的にのんびり過ごす
- 5 森林の手入れをする体験や、木の実や葉を使った工作、木工などの体験をする
- 6 きのこと狩りや山菜採り
- 7 和紙づくり、郷土食など地域の伝統的な文化を体験する
- 8 子どもを自然が体験できる行事に参加させる
- 9 史跡・名勝を訪ねたり、特産品を購入する
- 10 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 11 分からない

【木材の利用について】

問8 全員の方にお聞きします。

仮に、あなたが今後、住宅を建てたり買ったりする場合、どのような住宅を選びたいと思いますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 木造住宅（昔から日本にある在来工法のもの）
- 2 木造住宅（ツーバイフォー工法など在来工法以外のもの）
- 3 非木造住宅（鉄筋、鉄骨、コンクリート造りのもの）
- 4 分からない

問9 全員の方にお聞きします。

あなたが住宅を選ぶ時に、価格以外で重視することは何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 品質や性能が良く、耐久性に優れていること
- 2 健康に配慮した材料が用いられていること
- 3 設計の自由度が高いこと
- 4 リサイクルしやすいなど環境に配慮した製品が用いられていること
- 5 欲しいときにすぐに購入できること
- 6 内装等で木質部分が多くあること
- 7 木質部分に用いられている木材の種類や産地、費用が明らかであること
- 8 木質部分に植林や手入れが適切に行われている森林から生産された木材が用いられていること
- 9 木質部分に国産材が用いられていること
- 10 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 11 分からない

問10 全員の方にお聞きします。

都市部において、どのような施設に木材が利用されることを期待しますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 学校や図書館などの公共施設
- 2 ホテルなどの宿泊施設
- 3 ショッピングモールなどの大型商業施設
- 4 銀行や郵便局

- 5 映画館などの娯楽施設
- 6 駅やバスターミナルなどの旅客施設
- 7 木材を特に利用する必要はない
- 8 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 9 分からない

【木質バイオマスについて】

問11 全員の方にお聞きします。

木質バイオマス^{*}の利活用について、今後、取り組むべき方策は何だと思えますか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

※ 「木質バイオマス」とは、主に①森林内に放置された間伐材や枝葉、②製材工場で発生する木くずや樹皮、③住宅の解体に伴って発生する廃材、などの木質資源のことです。

- 1 燃やして発電する、又はボイラーで熱を利用するなどのエネルギー源としての利活用の推進
- 2 紙や木質ボードの原料としての利活用の推進
- 3 細かくして堆肥^{たいひ}や家畜の飼育舎に敷く材料としての利活用の推進
- 4 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕
- 5 特に利活用する必要はない
- 6 分からない

【森林認証について】

「森林認証」について

森林認証とは、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林又は経営組織などを第三者機関が認証し、それらの森林から生産された木材・木材製品へラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取り組みです。



FSCロゴマーク



PEFCロゴマーク



SGECロゴマーク

問12 全員の方にお聞きします。

森林認証という言葉の意味やロゴマークを知っていますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 「森林認証」の意味を知っている
- 2 「森林認証」という言葉を知っている
- 3 ロゴマークを見たことがある
- 4 「森林認証」の言葉を知らないし、ロゴマークも見ることがない

問13 全員の方にお聞きします。

森林認証の製品を購入したいと思いますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 積極的に購入したいと思う
- 2 製品の種類、価格によっては購入したいと思う
- 3 購入したいとは思わない

問14 問13で「3」を選択した方にお聞きします。

森林認証の製品を購入したいと思わない理由は何ですか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

- 1 仕組みがあまり分からないから
- 2 価格が高そうだから
- 3 製品の種類が少ないと思うから
- 4 簡単に入手できないと思うから
- 5 わざわざ選択して購入する必要性を感じないから
- 6 その他〔具体的に回答用紙に記入してください。〕

【単語・マークについて】

問15 全員の方にお聞きします。

以下の①～⑤の単語・マークについて、これまでに知っているものはありますか。

①～⑤のそれぞれについて、該当する選択肢の番号を1つ選択し、その番号を回答用紙に記入してください。

<単語・マーク>

① 木づかい運動	
② 木育（もくいく）	
③ 木づかいサイクルマーク	
④ 間伐材使用マーク	
⑤ 合法木材推進マーク	

- 1 以前から意味を知っていた
- 2 意味は知らなかったが、見聞きしたことはあった
- 3 見聞きしたことがない

【調査の概要】

1 調査の目的

我が国の森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、木材等の生産等の多面的機能の発揮によって、国民生活及び国民経済に大きく貢献している。

また、戦後造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えており、国内の豊富な森林資源を循環利用することが重要となっていることから、農林水産省では、新たな木材需要の創出、国産材の安定供給体制の構築、森林の多面的機能の維持・向上などに向けた施策を積極的に推進しているところである。

このような状況を踏まえ、林業・木材産業関係者及び消費者の森林資源の循環利用に関する意識や意向等を把握することにより、森林・林業施策の企画・立案の参考とすることを目的としたものである。

2 調査の対象

全国の農林水産情報交流モニターのうち、林業者モニター、流通加工業者モニター（木材関係）及び消費者モニターを対象とした。

（参考）

農林水産情報交流モニターとは、農林水産行政に対する意見・要望を把握することを目的として、広く国民から以下の区分ごとに公募等により選ばれた方である。

※モニターの区分及び条件	
生産者モニター	
農業者モニター	： 農業経営体の経営者
林業者モニター	： 林業経営体の経営者
漁業者モニター	： 漁業経営体のうち、個人経営体の経営者
流通加工業者モニター	： 食品製造、食品卸売、食品小売、外食産業及び木材関係の経営に携わっている方で、原則としてパソコンでインターネットを利用できる環境にある方
消費者モニター	： 農林水産行政に関心がある20歳以上の方で、原則としてパソコンでインターネットを利用できる環境にある方

3 調査の内容

森林の手入れ、森林の利用及び国産材の利用等に関する意識、意向

4 調査時期

本調査は、平成27年7月上旬から中旬までの間に実施した。

5 調査方法

オンライン調査及び郵送調査の2種類とし、メールアドレスを登録している流通加工業者モニター及び消費者モニターに対してはオンライン調査を、その他の者に対しては郵送調査を実施した。

6 調査対象数及び回収率

区 分	対象者数 (人)	回答者数 (人)	回収率 (%)
林業者モニター	141	123	87.2
流通加工業者モニター (木材関係)	186	153	82.3
消費者モニター	987	901	91.3

7 集計方法

各項目とも、単純集計により集計した。

8 利用上の注意

- (1) 本調査では、ある設問の回答対象者が当該設問について無回答であった場合、当該設問の集計対象からは除外するが、他の設問について（無回答でない）回答をした場合、集計の対象としている。
- (2) 図中の人数及び統計表の各回答者数は、各設問の有効回答者数である。
- (3) 各回答率は、各設問（各区分）の回答者数計を100.0とする割合である。
- (4) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない場合がある。
- (5) 統計表に使用した記号「-」は、該当する選択肢を選んだ回答者がいないことを表す。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「農林水産行政等に対する意識・意向調査」に分類しています。

お問合わせ先

◎本調査結果について

林野庁 林政部 企画課 企画第1班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：6063

(直通) 03-3502-8036

F A X : 03-3593-9564

◎農林水産情報交流ネットワーク事業について

農林水産省 大臣官房 統計部

統計企画管理官 統計企画班 モニター係

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3580

(直通) 03-3502-5631

F A X : 03-3501-9644

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房 統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3589

(直通) 03-6744-2037

F A X : 03-3501-9644